

中ノ國有ニスルカセヌカト云フコトハ、未ダ調濟ニナラヌカラシテ、判然ハ言ヘナイト云フコトヲゴザイマスガ、サウスレハ調中デアルト云フコトハ、國有ニスルト云フ其方針ハ決定シテ、如何ニシテ之ヲ買收スルヤト云フ方法ノ調査中デアリマスガ、又國有ニスルカセヌカラ調中デアルト云フコトヲゴザイマスガ、ソレヲ伺ヒ置キタイ、(無用々々ト呼フ者アリ) 無用デアリマス、マア聽イテ呉レ給ヘ

〔遞信大臣山縣伊三郎君登壇〕

○遞信大臣(山縣伊三郎)君 國有ニスルト云フノハ、私一個ノ考デ、マダ閣議ガ極ツテ居リマセヌカラ、此場合何トモ申上ケルコトハ出來マセヌト云フ次第デゴザイマス
○長崎登壇君 此鐵道敷設法ノ改正案ニ對シ、第二條ノコトニ付イテ、政府當局者若クハ此委員長、ドナラデモ宜シクゴザイマスガ、便宜ノタメニ、既ニ政府ガ同意シテ居ルカラシテ、政府ノ方ニ御答辯ヲ願ヒマス、其事ハ元來鐵道敷設法ニ依ツテ見レバ、羽越線及岩越線ノ部ニ於テ、新潟縣下新發田ヨリ、山形縣下米澤ニ至ル線路ト云フコトデアリマシテ、此線路ハ一ノ獨立シタル線路デ、從來此モノニ對シテ、海岸線ガ敷イテアツテモ、此鐵道ハ別ニ必要ガアルト云フコトハ、餘程前ニ大臣及陸軍ノ當局者等ガ委員會ニ於テ辯明セラレテアツタ歴史モアリマシタ、是ハ一ツノ獨立シタル線路ニナツテ居リマシタ、然ルニ今回ノ第二條ノ修正案ヲ見ルト云フト、新潟縣下新發田ヨリ云々ト書イテ、其後ニ及本線ヨリ分岐シテ山形縣下米澤ニ至ル鐵道ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ何故ニ茲ニ分岐シテト云フコトノ文字ガ必要ニナツテ居リマスガ、更ニ之ハ一線路ノ增加ト云フコトニナツテ居リマスガ、分岐トナツテ居ル此分岐スルト云フコトノ意味ハ、從來ノ新發田ノ起點ヲ更ニ止メテシマツテ、此海岸線ノ何レノ線カラ分岐スルト云フコトヲ更ニ採擇シテ、宜イト云フコトノ自由ノアル意味ヲ以テ此法文ガ出來タノデアルカ、若シソレデアラバ、何故ニ新發田ノ起點ヲ止メタノデアルカ、又新發田ガ起點デアル以上ハ、及本線ヨリ分岐シテト云フコトノ意味ハ、何故ニ是ガ必要ニナツテ居ルカ、其線路ハドウ云フ性質ノ線路デアルカ、又此分岐ト云フ意味合ハ、ドウ云フ御考デ御同意ニナツタデアルカ、御説明ヲ願ヒタイ

〔政府委員仲小路廉君登壇〕

○政府委員(仲小路廉君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、此文句ノ中ニ、分岐ト云フコトガアリマシテモ、少シモ其意味ニハ變リガゴザイマス、詰リ是マデアリマシタ新發田下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道ト云フモノ、中ニ、此度新潟縣下新發田ヨリ村上、山形縣下鶴岡、酒田、秋田縣下本庄ヲ經テ秋田ニ至ル鐵道、及本線ヨリ分岐シテ山形縣下米澤ニ至ル鐵道ト云フコト、前ノ分ト是ト纏メル結果デアリマスガ、少シモ最初ノ意味ニ變リハゴザイマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス
○恆松隆慶君 本案ハ豫算ニ關シテ居ル問題デアリマスガ、ドウゾ直ニ讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別段御議論モゴザイマセヌヤウデスカラ、採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クト云フコトニ付イテ御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ガ無イト認メマス
○恆松隆慶君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 恆松隆慶君ノ直ニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

鐵道敷設法中改正法律案 第二讀會

〔福井三郎君登壇〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス
○福井三郎君 本員ハ議院法第九十三條ニ從ヒマシテ、定規ノ贊成者ヲ得テ、本案ニ對スル修正案ヲ提出シテゴザイマス、極ク匆卒ノ間ニ成立シテ、議長ノ手許ニ差出シテ置キマシテ、茲ニマダ其修正案ヲ持テ居リマセヌガ、要スルニ斯ウ云フデアリマス、政府案ノ第七條ノ末ニ「同項第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フル」トアル、其次ニ「同項第十號及第十一號ヲ削リ」ト云フコトガゴザイマス、其及以下「及第十一號」ト云フ此五文字ヲ、原案ヨリ削除シヤウト云フ修正案デゴザイマス、御承知ノ如ク、政府案ニ依ツテ此十號及十一號ガ削除セラレマス、十號ノコトハ知ラズ、十一號ガ削除セラレマス、斯ウ云フモノガ無クナルデアラウト思ヒマス、山陰山陽連絡線ノ内、兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道、是ト岡山縣岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道、若クハ岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道、是ガナクナツテ、シマフト、詰リ先キノ比較線——陰陽連絡、間ニ三ツゴザイマシタ其中央ノ一番適當ナ所ガ、詰リ梯子ノ子ガナクナル、未來永久アツコノ鐵道ガ出來ナクナツテ、山陰山陽ハ終ニ長ク此世ノ別レテ告ケナケレバナラヌモノニナラウト思フ、ソコヨ本員ハ深ク憂フルノデアリマス、御承知ノ如ク、アノ邊ハ極ク僻遠ノ地デゴザイマシテ、物産ニモ乏シクゴザイマセヌガ、交通機關ノ乏シイ——運輸ノ道ガ開ケテ居リマセヌト、即チ通信ノ便モ甚ダ不便ナノデ、之ガタメニイマデ經テモ舊時ノ態ヲ脱シマセヌ、今尙其有様ハ舊幕時代ト異ラヌヤウナ始未デアリマス、故ニ鐵道デモ早ク架リマセヌト、遂ニアツコハ文明ノ恩澤ニ浴スルコトガ出來ナイコトニナリマス、故ニ當局者ハ最早早クコトニ注意ヲ拂ウテ、鐵道ヲ拵ヘラレルデアラウト吾々ハ樂シク居リマシタトコロガ、明治二十七年カ、確カ法律第十號デアツタ思ヒマスガ、ソレヲ以テアノ比較線ヲ決定セラレマシタ、其決定セラレマシタノハ、御承知通一番始メノ姫路ヨリ鳥取ヲ經テ米子ニ至ル鐵道デアル、三ツ梯子ノ子ガゴザイマシタナラバ、アレガ始メデ吾々素人考ニ考ヘテモ學者技師ノ判斷ヲ待タズ、一番真中カラ鐵道ヲ架設スレバ、其兩端ノモノハ其便ヲ得ラレ、ガ、一番端カラレバ、則チ中ノモノト次ノモノハ便ヲ得ラレ、因テ端カラヤルノ其擇方ガ甚ダ間違テ居ルト思フ、併シ賢明ナル當局者ノ考デアルカラ、アツコニハ二ツアツテモ五ツアツテモ、差支ナイノデアリマスガ、即チ端カラ段々ヤツテシマフノデアラウト考ヘテ居リマシタガ、何ゾ圖ラン今日ノ改正案ヲ見マスルト、之ヲ取テシマツテ未來永久アツコニ鐵道ハ架ケヌ意味ニナツテ居ル、終ニ陰陽ノ連絡ヲ斷切テシマツテ未來永劫架ケヌト云フ案ニナツテ居ル、故ニ本員ハ深ク憂フル屬シテ居リマシタガ、今遞信大臣ニ質問ヲ致シマシタラ、遞信大臣ノ御話ガ満足致シマシタ、アツコニモ鐵道ハナクテハイカヌサウデアリマス、アノ中間ノ美作ノ國ガ、海底ニ没スルモ地ノ底ニ埋マルモ、頼著シナイト云フコトデアリナイ、アレヲ引出シテ文明ノ恩澤ニ浴セシムルト云フコトデアリマシタ、方針ハト云ヘバ、私設ニスルカ、官設ニスルカ、今尙考慮中デアルト云フ御答ヲ得マシタ、誠ニ樂シク御答ヲ得テ満足ヲ致シマシタ、アノ答ト改正案ト少シ矛盾ヲシヤシナイカ、故ニ政府ガ折角親切ニ考慮中デアルニモ拘ハラズ、此改正案ニ於テ取除イタナラバ、折角之ヲ官設ニシヤウト云フ時分ニ、法律ガナクテ御困リニナリハシナイカ、故ニ折角御考慮中デアレバ、希クハアレハ現行法ノ適ニ存シテ置カレタイト思ヒマス、故ニ今本員ノ修正案タル此五文字ヲ削ルベシト云フコトニシタナラバ、現行法ニアレガ存スルノデアリマスガ、政府ガ官設デ以テ拵ヘルト、乃至財產家ヲ獎勵シテ——資本家ヲ獎勵シテ私設ヲ拵ヘルトカ云フ考ノ付キマシタ時分ニハ、即チ此

法律——現行法が助ケニナリマスカラ、是非之ヲ存シテ置キタイト云フ考カラ、此修正案ヲ出スノデゴザイマス、中ニハ斯ウ云フ疑ヲ持ツ人ガアルカモ知レマセヌ、或ハ政府モ答ヘラレカモ知ラヌガ、既ニ比較線ガニツアテ、其ニツニ決定シタカラ、後トハ不用ニ屬スルカラ、詰リ不用ノモノハ法律ノ上ニ存シテ置クコトハイカナイト云フカモ知レマセヌガ、若シサウ云フコトニナレバ——勿論サウ言ハレタデハナイ、是ハ本員ノ杞憂デカラサウ言ハレヌカモ知レヌガ、假ニサウ云フコトニシタラバ、マダサウ云フモノハ幾ツモアル——現行法ノ中カラ取除ケナケレバナラヌモノハ澤山アル、一例ヲ舉ゲマスレバ、水戸ヨリ平ヲ經テ岩沼ニ至ル鐵道モ、此現行法ノ中ニ職テ居リマスガ、アレナドハ既ニ出來テ本員ナドハ乘ツテ、往復シテ居ル、ソレニモ拘ハラズ法律トシテ法律ニ殘テ居ル、ソレモ官設デハナイ、私設會社出來テ居ル、サウシタナラバ、アレモ要ラナイ明文ニナツテ居ラウト思フ、然ルニモ拘ハラズ依然トシテ存シテ居ル、今度ノ改正案ニモソレヲ取除クト云フコトガナイ、サウシテ見ルト不用デアルカラ、明文カラ取除ケルト云フコトデハナイ、故ニ之ヲ取テ除ケルト云フコトハ、唯ニ美作ノ國ト云フ一國ニハ鐵道ハ要ラヌト云フ主意ニナリハシナイカ、是ハ最モ深ク注意ヲ拂テ貫ハナケレバナラヌノハ、美作ノ國ノ如キハ、諸君モ御承知ノ通國トシテ知ラレテ居ラス、本員ノ如キガ東京へ出テ美作ノ者ダト云フト、美作——ソレナ國ガアリマシタカト云フ、作州ダト云フトハ、ア作州(笑聲起ル)段々考ヘラレテ、始メテ日本國ニ美作ト云フ國ガ知ラル、位デアル、殆ド地理學者ニテラザレバ知ラヌ位デアル、本員ナドガ曾テ外國へ參リマシタトキニ、日本ト云フ國ハ支那ノ領地ノ如ク思ハレテ腹ガ立ツタコトガアリマス、丁度東京ノ者が日本ノ國ニ美作ガアルカヲ疑ハシムル、マル美作ノモノヲ指シテ積タラシメントスル(笑聲起ル)美作ノ國ハドチラヘ往ツテモ、十八里往カナケレバ生ノ魚ガ食ヘナイ國デアル、是ノ如キ場所デアルカラ、日本ノタメニ——美作一國ノタメニ早ク鐵道ヲ開設シテ、交通ノ便ヲ與ヘテ、サウシテ文明ノ恩澤ニ浴セシムルコトハ、最モ政府ノ務メナケレバナラヌトコロデアル、政府若シ其方針デナケレバ、我議院ハ宜シク監督シテ其方針ニ政府ヲ向ハシムルコトヲ必要トスル故ニ、此修正案ヲ提出シテ現行法ノ通之ヲ存シテ置キタイト云フ主意デアリマスカラ、滿場一致ノ御贊同アラントラ希望致シマス

○榎松隆慶君 唯今福井君ノ修正説ハ、如何ニモ御尤ナ修正デゴザリマスガ、併シ此場合此案ノ大勢ハ極々タモノデアリマス、美作ヲシテ天下ニ知ラシメル時機ハ、他日ニアラウト思ヒマス、此場合ハドウガ本案ニ付イテ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 御異論モナイヤウデアリマスカラ、採決ヲ致シマス、福井君ヨリ「同項第十號及第十一號ヲ削ルト云フ中、「及第十一號」ノ五文字ヲ削ルト云フ修正説ガ出テ居リマス、因テ此點ニ付イテ採決ヲ致シマス——原案ニ御同意ノ御方ニ御起立ヲ願ヒマス

○榎松隆慶君 福井君ノ案トカ委員會ノ報告トカ、ハッキリ仰シヤツテ裁カナイト分リマセヌ

○議長(杉田定一君) ソレハ斯ウシマス、福井君ノ修正説ニ御同意ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デゴザイマス

○榎松隆慶君 委員長ノ報告通異議ナシ

○議長(杉田定一君) 他ハ委員長ノ報告通、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 委員長ノ報告通決シマシテゴザイマス、是デ第二讀會ヲ終リマシマス

○榎松隆慶君 直ニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 第三讀會ヲ開クコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通御異議ゴザイマセヌカ

鐵道敷設法中改正法律案 第三讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定致シマシタ——議事日程第二産業試驗費講習費國庫補助法案、第一讀會ノ續ニ移リマス、山本幸彦君

第二 産業試驗費講習費國庫補助法案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定致シマシタ——議事日程第二産業試驗費講習費國庫補助法案、第一讀會ノ續ニ移リマス、山本幸彦君

第二 産業試驗費講習費國庫補助法案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

官報號外 明治三十九年二月十一日 衆議院議事速記第六號

鐵道敷設法中改正法律案 第二讀會 第三讀會 確定議

六五

○議長(杉田定一君) 委員長ノ報告通決シマシテゴザイマス、是デ第二讀會ヲ終リマシマス

○榎松隆慶君 直ニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 第三讀會ヲ開クコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通御異議ゴザイマセヌカ

鐵道敷設法中改正法律案 第三讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定致シマシタ——議事日程第二産業試驗費講習費國庫補助法案、第一讀會ノ續ニ移リマス、山本幸彦君

第二 産業試驗費講習費國庫補助法案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定致シマシタ——議事日程第二産業試驗費講習費國庫補助法案、第一讀會ノ續ニ移リマス、山本幸彦君

第二 産業試驗費講習費國庫補助法案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○山本幸彦君 産業試驗費講習費國庫補助法、之ニ對スル特別委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、此案ハ甚ダ簡短ナ案デアルノデアリマス、御承知ノ通、唯今府縣農事試驗國庫保護法ト云フ法律ガゴザイマシテ、其法律ニ依ツテ、毎年十五萬圓ノ金額ヲ支出ヲ致シマシテ、サウシテ農事ト水産トノ試験及講習ノコトニ補助ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ是ニ依ツテ見マシレバ、工業ノ保護ト云フコトニ付イテ、試験及講習上ノ補助ガゴザイマセヌ、故ニ唯今ニ於キマシテ、是ニ工業ヲモ加ヘ保護ヲ致シタイト云フ趣意カラ、茲ニ現在ノ法律ノ改正ヲ致シマシタ如キ意味ヲ以テ、此法案ガ成立致シタノデアリマス、其外現行法ニ於テ不備ナルトコロノ二三點ヲ補ツタコトニ相成ツテ居リマス、是ガ此案ノ大體デゴザイマス、委員會ハ此案ニ對シテ、一人ノ異議者ナク、滿場一致ヲ以テ原案ヲ贊成シタノデアリマス

(東尾平太郎君 異議ナシ、贊成、採決ヤ々ト呼フ)

○議長(杉田定一君) 本案ニ付イテ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クコト云フコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○榎松隆慶君 本案ハ三讀會ヲ省略シテ直ニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 榎松君ノ發議ノ三讀會ヲ省略シテ、直ニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 榎松君ノ動議、通決シマス、是ヨリ直チニ二讀會ニ移リマス、本案ニ付イテ御異議アリマセヌカ

産業試驗費講習費國庫補助法案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ——次ハ議事日程第三軍艦水雷艇補充基金ノ編入ニ關スル法律案、第一讀會ノ續——星松三郎君

軍艦水雷艇補充基金ノ編入ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ——次ハ議事日程第三軍艦水雷艇補充基金ノ編入ニ關スル法律案、第一讀會ノ續——星松三郎君

軍艦水雷艇補充基金ノ編入ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ是ニテ確定致シマシタ——次ハ議事日程第三軍艦水雷艇補充基金ノ編入ニ關スル法律案、第一讀會ノ續——星松三郎君

第三 軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル 第一讀會ノ續 (委員長)

(星松三郎君登壇)

○星松三郎君 軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ、三回ノ集會ヲ致シマシテ、滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、ソレデ此議案ハ三基金ノ一ツアゴザイマシテ、是ハ三十七年度三十八年度ニハ組入レマシタガ、三十九年ニハ財政ノ都合ニ依ッテ組入レルコトガ出來ヌト云フ案デゴザイマシテ、本會ニ於キマシテハ、餘議ナキモノト認メテ、全會一致デ可決致シマシタ、此段報告致シマス

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 本案ニ付イテ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略スルコトヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 直ニ二讀會ヲ開イテ、三讀會ヲ省略シ、二讀會ニ於テ確定スルコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直ニ第二讀會ニ移リマス、本案ニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定セラレマシタ、議事日程第四、明治三十五年法律第二十九號中改正法律案ノ第一讀會ノ續ニ移リマス

第四 明治三十五年法律第二十九號中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續 (委員長)

(關信之介君登壇)

○關信之介君 諸君、明治三十五年法律第二十九號中改正法律案委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ極メテ簡單ナ問題デゴザイマシテ、委員會ハ過ケル五日ニ開キマシテ、即日全會一致デ決定致シマシタ次第デゴザイマス、而シテ此法律ハ臺灣ニ於ケル陸軍警守及監守等ニ對シテ、隱退料及遺族扶助料ニ付イテハ、内地ヨリ五割増ヲ與ヘ來タデゴザイマス、然ルニ臺灣ニ於キマシテ女監取締ト云フモノヲ今同置カレマシタ、其女監取締ノ職務ト云フモノハ、御承知ノ通、監守ト取テ擇ムトコロハゴザイマセヌ、故ニ是等ニハ等シク退隱料遺族扶助料等ノ恩典ニ浴セシメタイト云フコトデアリマス、而シテ貴族院ニ於テハ、僅カニ「及」ト云フ一字ノ修正ニ止テ可決致サレテ

本院ニ送付サレタノデアリマス、本院ニ於テモ委員會ニ於テハ、全會一致デ可決シタノデアリマス、滿場一致デ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 第二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ付イテ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ、確定サレシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ直ニ二讀會ヲ開イテ三讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ確定スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直ニ三讀會ニ移リマス

明治三十五年法律第二十九號中改正法律案 確定議

○森田卓爾君 議長質問ガアリマス、唯今委員長ノ報告ニ質問ガアリマス「及」ト云フ字ハ今報告ニナッテ居リマセヌデシタガ、委員會デハ、御入レニナッテアリマス、原案ヲ可決ニナッテアリマス、ソレデ廻シテ來タノラドウナス、タノデアリマス

(「貴族院ノ儘デ宜イ」ト呼フ者アリ)

○關信之介君 貴族院送付ノ通、「及」ト云フ字ヲ入レタ儘可決シタノデアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 本案ニ付イテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 本案ハ是ニテ確定致シマシタ 議事日程第五、明治三十九年度豫算案ニ移リマス 栗原亮一君

第五 明治三十九年度豫算案 (栗原亮一君登壇)

○栗原亮一君 明治三十九年度ノ總豫算、竝ニ三十八年度ノ追加豫算、臨時軍事實費ノ追加豫算、此等ヲ總テ一括綜合シテ報告ヲ致シマス、本豫算ハ通常豫算ト時局關係ノ豫算ト、内容ハ二ツデアリマス、ケレドモ、豫算ノ體裁ニ付キマシテハ、此二ツガ相混シテ居ルノデアリマス、此三十九年度ノ總豫算ハ歲入歳出、トモニ四億九千二百万圓餘デアリマシテ、同シ數ト原案ハナッデアリマス、然ルニ此歳入ノ方ニ於キマシテハ、公債募集金ニ於テ五百万圓ガ減セラレテ、其修正ノ額ハ御手許ニ廻ハッテ居ル通デアリマシテ、四億八千七百万圓餘トナルノデアリマス、此原案ノ四億九千二百万圓餘ガ、四億八千七百万圓餘トナリマシタ、其理由ハ後段ニ詳シク申シマス、大要臨時事件豫備費ニ於キマシテ、五百万圓ヲ減シマシタト、航路擴張費ノ濠洲ノ部ニ於キマシテ、此分ガケガ委員會ニ於キマシテハ成立セズシテ餘儀ナク此額ガケヲ減シテ、茲ニ報告スルノデアリマス、此二ノ理由ガケデアリマス、本豫算ハ修正ノ箇所モ少ナクアリマシタケレドモ、何分ニモ此戰時並ニ戰後ノ豫算デアリマシテ、非常ニ重大ナルコトデアリマス、大體ノ審査ノ結果ガケ御報告申シテ置キマス、此臨時軍事實費ノ追加ニ於キマシテハ、四

億五千四百五十萬圓アリマシテ、其内容ハ委員會ニ於キマシテ、詳シク説明書モ出テ居リマスガ、之ヲ大別スレバ、此中テ二億七千七百八十二萬圓餘ト云フモノガ、陸軍ノ軍事費アリマシテ、海軍ノ軍事費ガ二千二百六十二萬圓餘トナリテ居リマス、又論功行賞ノ資金ガ一億五千萬圓ト、豫算ガ積モテアリマス、大要ハ此三ツニ分カレテ居リマス、ソレカラ三十八年度ノ臨時事件豫備費ノ追加ニ於キマシテ、七百二十萬圓ノ要求ガアリマス、是ハ公債利子等ニ於テ、不足ヲ生シ、既ニ二千八百八十萬圓餘ト云フモノハ、豫算外ニ支出濟ニナリテ居ルカラ、尙其不足分ヲ要求ニナリテ居リマス、原案ニ依レバ、此三口ヲ合シテ九億五千五百七十四萬八千五百七十二圓トナルノデアリマスガ、修正額ニ於キマシテハ、九億四千五百七十七萬五千四百八十圓トナリテ居リマス、其外ニ臨時軍事費ノ責任支出トナリテ居ルノガ、六千萬圓デアリマス、ソレカラ三十八年度ノ臨時事件豫備費ニ於キマシテ、責任支出ト相成テ居ルモノガ二千八百八十二萬圓餘アリマス、併シ此二口ハ年度後ニ於キマシテ、更ニ協賛ヲ求メ來ルモノデアリマシテ、之ヲ總體加ヘマスルト、十億三千三百九十萬圓餘デアリマスケレドモ、此本豫算ニ請求ニナリテ居リマスルノハ、此六千萬圓ト二千八百萬圓ト云フモノガ這入ッテ居リマセヌ歳出ガ四億九千二百八十萬圓餘ト原案ニアリマスルノガ、四億八千七百四十萬圓餘ト相成リマシタノハ、先刻申ス通ニ臨時事件豫備費ニ於キマシテ五百萬圓ヲ減シ、航路擴張費ノ内テ此案ノ成立ツマテ濠洲航路ノ分四十七萬圓餘ガ削減シテアリマス此臨時事件豫備費ハ、八千四百五十萬圓餘トナリマシテ、此中五百萬圓削減ヲ致シタカラ、茲ニ訂正シテアル通、七千九百五十萬圓餘トナリマシテ、此五百萬圓ヲ歳出ヨリ減シタコトニ付イテハ、委員會ニ於キマシテモ、種々説ガアリマシテ、此五百萬圓削減シタト云フモノハ、唯二十九年ニ於テ之ヲ減シテ置ケレドモ、又四十年度ニ至ッテハ更ニ之ヲ要求シ唯支拂ハ線延ルノミニ止ッテ、實際削減デナクテハ一向用ヲ爲サヌカラ、ソレハ線延ニアラスシテ、眞ニ削減スルヤ否ヤト云フ質問ガ起リ、當局者ハ之ニ對シテ、成ル可ク是ハ實際削減ヲ致スノデアリ、唯二十九年度ノモノヲ線延ベテ翌年ニハ矢張此金ヲ使フト云フ趣意デハナイ、又之ヲ減シタ委員會ノ精神ニ於キマシテハ、今日戰後ノコトデアリマスカラ、此陸海軍費ノ膨脹ヲ致スノハ已ムヲ得ヌケレドモ、戰後ノ經營ト致シテハ、生産事業ノ發達ヲ計ルコトガ、最モ必要デアリカラ、陸海軍ニ於テモ必要ノ經費アルケレドモ、尙之ヲ忍ンデ生産事業ニ用井ルコトニ致シテ貴ヒタイ、是ノ如キ希望ヲ添ヘテ、是ハ削減ニナリタノデアリマス、此臨時事件豫備ト云フノハ、八千四百五十萬圓、誠ニ簡單ニ一欸デアテ居リマスケレドモ、隨分是ハ大ナル金デアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ、餘程詳シク質疑討論ヲ致シタデアリマス、固ヨリ未ダ戰時狀態デアリマスカラ、當局ニ於テモ詳シク豫算ハ立タヌ、概算デアハアルケレドモ、大體ハ如何デアアルカト云フコトハ、能ク質問ヲ致シマシテ、即チ此内容ハ詳シク申ス必要アリマスマイケレドモ、何分大金ノコトデアリマスカラ、大要ダケハ茲ニ御報告スルガ宜カラウト思フノデアリマス、此内ノ主ナルモノハ、陸軍臨時軍事費ノ増加デアリマシテ、是ハ滿韓ニ四個師團ガ今置イテアル、其師團ヲ増設スルガタメニ、經常費ノ方デ一千万圓、サウシテ此方デ一千万圓ト積ムデアリマス、又關東總督府以下諸部隊ヲ滿韓並ニ樺太ニ駐屯セシムル、タメ一千万圓ヲ要ルト云フ豫算ニナリテ居リマス、サウシテ兵器其他ノ復舊デア

アリマス、是ガ千五百六十六萬圓餘ニナリテ居リマス、戰役殘務費ガ六百七十五萬圓餘、倉庫建築費ガ二百五十八萬圓餘、即チ合計四千五百萬圓ト云フモノガ陸軍ノ部デアリマス、ソレカラ海軍臨時事件費ノ方ニ於キマシテハ、旅順鎮守府其他復舊費ニ於テ二千五百萬圓、其他ノ經費ヲ合セテ二千七百三十二萬圓、是ガ海軍ノ分トナリテ居リマス、大藏省所管ニ於テ勳章勳記ノ製造費ガ、三百五十萬圓餘デアリテ、證書ノ製造費ガ三百三十四萬圓餘其他ヲ一括シテ千九百萬圓ト云フノガ大藏省ノ所管デ、其他各省ニ互テ經費ガ段々アリマス、此財源六千八百萬圓ハ、是ヲ公債支辨ニ仰ギ、千三百萬圓ト云フモノハ歳入殘餘金デアルト云フ豫定ニナリテ居リマス、此總豫算ニ於キマシテハ、格別修正ノ點モ少ナイノデアリ、何分今日ノ場合ト致シマシテハ、陸海軍ノ經費ガ大ニ増加致シタデアリマシテ、先刻申シタコロノ滿韓三四個師團ヲ増設スルト云フコトニ付キマシテ、臨時事件豫備費ノ方ニ於テ一千万圓、經常費ニ於テ一千万圓、ガ要求ニナリテ居ルノデアリマス、是ハ今日ノ形勢ニ於テ已ムヲ得ヌト認メマシタカラ、委員會ニ於テモ一ノ異論モナカッタデアリマス、ソレカラ下士以下ノ賄料ト云フモノガ、段々物價騰貴其他ノタメニ六十六萬圓餘増加ニナリテ居ル、是ハ原案通可決シマシタ、昨年ヨリ増加シテ居ル主ナル經費ハ、陸軍ニ於テハ是ノ如クデアリマス、ソレカラ、海軍ニ於キマシテ、經常費ノ増加ガ四百九十五萬圓餘ニナリテ居リマス、是ハ段々戰勝ノ結果、戰利艦モ約十萬噸餘積ニテ居ルノデアリマス、詰リ此戰爭前ニ於キマシテ約二十八萬噸アッタモノガ約四十萬噸ニ増加致シタ、ソレガタメニ定員ノ補充ヲ致シ、又糧食品モ物價騰貴ノタメニ、餘程高クナリテ居リマシテ、是等ノタメニ四百九十五萬圓餘ノ増加ヲ致シタデアリマス、我帝國海軍ハ偉大ナル功ヲ奏シ、是ガタメニ多クノ經費ヲ要スルト云フコトハ已ムヲ得ヌ次デアリマスケレドモ、彼ノ第三期擴張ノ經費ト云フモノモ、既ニ一億一千万餘ヲ協賛シテアリマシテ、其戰爭中ニ於テハ、當時ノ勢ヒ已ムヲ得ヌデアリマシタカラ、臨時軍事費ヲ以テ軍艦製造ニ著手致シタモノガ一億圓餘ニモナリテ居リマス、言ハハ茲ニ第四期ノ擴張ノ計畫モ行ハレツ、アルト云フ場合デアリマス、是ハ臨時軍事費ニ於テ著手ニナリテ居リマシタガ、既ニ平時ニ復シタル以上ハ之ヲ豫算ニ於テ要求ヲ致スコトニナリテ居リマス、既ニ著手致シタモノハ今日已ムヲ得ヌデアリマスケレドモ、平和克復ノ際ニ、未ダ著手ヲ著ケテ居ナイノガアリマス、此手ヲ著ケテ居ラヌケノモノハ、本年ノ豫算ニハ要求シテナイノデアリマス、此著手ニ及ンダモノハ、今日之ヲ後ニ戻ス譯ニモ往カズ、是ハ委員會ニ於テモ認メタデアリマス、併シナカク、海軍ノ事ニ付キマシテハ、誠ニ帝國ノ防護ノタメニ必要ハ固ヨリデアリマスシ、又大イニ功績モアッタ譯デアリマスケレドモ、將來ハ隨分海軍ノタメニ吾々國民ハ大ナル負擔ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、大イニ注意スベキコトデアリマス、ソレカラ經常、歳出ノ中デ少シク是マデヨリ財政計畫ノ變ハリマシタモノハ、鐵道電話製鐵所ノ經費、是等ハ出來得ルダケ、經常歳出カララテ居ラタノデアリマスケレドモ、今日ノ場合ハ速モ是ヲ經常費ニ仰グコトハムアカシ、又殊ニ是等ハ隨分生産的デアリマシテ、ソレダケ金ヲ掛ケルナレバ利益モアルコトデアリマスカラ、是ノ如キ生産的ノ事業ハ、之ヲ普通財源ニ求メズ、公債支辨ニ移シテモ差支ナイ譯デアリマスカラ、此千二百萬圓餘ト云フモノハ、此度公債支辨トナリテ居ルノデアリマス、ソレガタメニ鐵道ノ經費モ官設ノ改良費、敷設費、北海道其他ヲ合セ

テ八百七十方圓バカリト云フモノガ、此公債財源ヲ得テ段々手ヲ延バスコトニナテ居リマス、此鐵道費ニ付キマシテハ、皆必要アリマスカラ、豫算本會ニ於キマシテモ別ニ異論ハナク賛成デアッタノデアリマス、但シ此富山直江津間鐵道ニ於テ東岩瀨ヲ經テ直江津ニ至ル建議ガ議會ニ成立テ居ッタノデアル、然ルニ此建議ガ採用サレテ居ラヌハ甚ダ遺憾デアルト云フコトデ、委員會ニ於キマシテ、其議論ハアリマシタガ、要スルニ是ハ總テ原案ニ賛成トナッタノデアリマス、此豫算中ニ於キマシテ、唯問題トシテ茲ニ殘リマシタノハ、遺憾ナガラ濠洲線路ノコトデアリマス、是ハ此航路擴張費ニ於キマシテ、六百十九万六千八百八十一圓ト原案ハアルノデアリマス、此中濠洲航路擴張費ノ四十七万圓餘ト云フモノハ、濠洲線路ノ分デアリマシテ補助年限ハ原案ハ五年デアリマスガ、是ハ長キニ過グルト云フノデ、或ハ二年ト云ヒ、一年、一年、此三ツニ分レマシテドウシテモ委員會ニ於キマシテハ、過半數ノ決ヲ見ルコトガ出來ナカッタノデアリマシタ、是ハ本會ニ裁定ヲ求ムルヨリ致方ガナイ場合ニナッタノデアリマス、豫算外國庫負擔ノ契約ト云フノデアリマスガ、是モ年限ノ問題ニ於キマシテ、過半數ノ決議ガ出來ヌデアリマシタカラ、此儘事實ヲ報告スルヨリ致方ガナイデアリマス、先ヅ大體ハ斯様ナモノデアリマシタ、之ヲ約メテ見レバ修正ハ至テ簡單デアリマス、臨時事件豫備費ニ於テ五百萬圓ヲ減シタノト、サウシテ此濠洲線ノ分タケハ議ガ總ラズニ終ラタ、是ノ如クニ其儘報告スル次第デアリマス、又例年ノ豫算ニ出ル新營費、營繕費、是等ハ議會ニ於キマシテモ、年々或ハ三分減、五分減ト云フコトヲ施シテ居リマシタケレドモ、餘リ面白キコトデモナク、ドウカ當局者ニ於テモ十分節減ヲシテ、モウ是デ差引ハナラヌト云フヤウニ要求シ委員會ニ於テモ成ルベク斯ウ云フ事ニ手ヲ付ケタクナイノデアリマスケレドモ、是マデノ審査ニ於キマシテハ、新營費、營繕費等ニ於テ三分カ五分ヲ減ズル餘地ヲ見定メ、サウスルト當局者ハ三分カ五分ハ減ズルカラ、懸ケテ置イテモ宜イト云フコトガアッテハ面白クナイ話デカラ、此際ハ是ニハ一文ノ削減モ加ヘナイテ當局者ノ公徳ニ訴ヘ今後ハ誠實ニ豫算ヲ積ルヤウニシテ、責任ヲ負ハシメ此際ハ些々タル削減ナドハセヌガ宜カラウト云フノガ、委員會ノ意向デアリマス、委員會ノ審査ノ結果ハ、大體是ノ如キモノデアリマスガ、何分戰時中ニ於テモ、戰後ニ於テモ國民ハ巨大ナル負擔ヲ致シ、忠愛ノ精神ヲ以テ、此豫算ヲ協贊スル譯デアリマスカラシテ、當局者ニ於キマシテモ、誠意誠心此支出ニ於キマシテハ深ク注意セラレンコトヲ希望致スノデアリマス

○肥塚龍君 委員長ニ質問ガアリマス、栗原君ノ席カラテモ宜シイガ、委員會ノ御意見ヲ承リタイ、ソレハ外デアリマセヌガ、三十九年度ノ内務省所管ノ内ノ、警視廳建築費デス、此事ニ付イテ承リタイ、御承知ノ通、警視廳建築費ハ三十九年度ニ於テハ十六万圓バカリ、繼續總金高ハ四十万圓バカリニナツテ居ル、此警視廳ト云フモノハ警察ノ區域ハ如何デアアルカト云フト、御承知ノ通、東京府全體ヲ管轄スル東京府全體ノ人民ハ如何デアアルカ、二百數十方ノ人民ハ如何デアアルカト云ハバ、警視廳ハ廢シテ貫ヒタイト云フノガ、全府ノ人民ノ希望デアル、希望是ノ如キモノデアアル、此警視廳ノ建築ヲハ廢シマスレバ、東京府民ハ喜ンテ三十九年度ノ十六万圓ガ二十万圓ニナツテモ、喜ンテ此費用位ノモノハ東京府ハ附屬ナラ附屬ヲシテ、建築費ヲ出スコトハ、誠ニ容易キ話、又全金額ヲ言ヒマスレハ四十万圓バカリノ費用、是モ東京府民カラ取テ見マス

レバ金高ハ大シタ金高デアナイ、喜ンテ此金ヲ東京府民ハ出ス、二百數十方ノ人民ハ警視廳ヲ廢シテ警察權ヲ東京府ニ移シテ貫ヒタイト云フ希望ハ、是ノ如キモノデアラ、費用ノ負擔モ誠ニ易キタルモノト、東京府民ハ考ヘテ居ルノニ、委員會ハナニ此負擔ハ重クテモ構ハヌ、府民二百數十方ノ人民ガ如何ナル希望ガアラウトモ構ハヌ、政府ノ御希望デアレバ盲從ト言ヘバ弊害ガアルカ知ラヌケレドモ、御無理御尤デツレニ從フト云フコトニナツテハ、甚ダ遺憾千萬デアアルデアアル、此點ニ付イテ委員會ハ是ヲハ削除ハシナイ、原案ノ儘ガ宜イト云フコトニナリマシタ、其模様ノ大略ヲ宜シウゴザイマスカラ御報告ヲ願ヒタイ

○栗原亮一君 唯今肥塚君ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ御答シマスガ、其議論ハ委員會ニ於テハ出マシタノデアリマス、併シ是モ少數デアリマシテ、例レマシタカラ、別ニ報告ハ申サヌデアリマシタケレドモ、其議論ハアリマシタ、之ニ反對スル論ハ、矢張簡單ニ申セバ警視廳必要ナリト云フコトデ、此原案ガ成立ラタノデアリマス

○肥塚龍君 唯今委員長ノ答辯其要領ヲ得ナイ、必要デアルト言ツテモ、其必要ノ理由ヲ述ベナケレバ、遺憾ナガラ先刻本員ガ述べタ盲從雷同ト云フ責ハ免カレヌト思フ、此一點ニ付イテ必要ノ理由ヲ一言承リタイ

○谷澤龍藏君 チョット遞信大臣ニ御質問ヲ致シタイ、濠洲線路ノ補助デゴザイマスガ、是ハ唯今一年、二年、三年ト云フニ說アッタト云フコトデアリマシタガ、(問題ニナツテカヲ仕給ヘト呼フ者アリ)是ハ二年トナリマシテモ二年トナリマシテモ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ハ差支ナイノデアリマスカ(問題外ト呼フ者アリ)丁度今豫算ノ報告デアリマスカラ……

○議長(杉田定一君) 谷澤君ソレハ其場ニ御質問ニナツテドウデス

○谷澤龍藏君 今豫算ノ場合デアアルカラ差支ナカラウト思ヒマス

○議長(杉田定一君) ソレハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件デアリマス

○谷澤龍藏君 詰リ一遍起ツノモ一遍起ツノモ同ジコトデスカラ、遞信大臣カラ御答ガアルナラ伺ヒタイ

(肥塚龍君「速ニ御差止ヲ願ヒマス」ト呼ビ、笑聲起ル)

○議長(杉田定一君) 答辯モゴザイマセヌデ、歳出經常部ニ移リマス

○肥塚龍君 私ノ質問ニ答辯ガナイトコロコ見ルト答辯ガ出來ナイモノト認メマスカラ此上ハ本員ハ追窮致シマセヌ

○谷澤龍藏君 差支ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○議長(杉田定一君) 歳出經常部ニ移ラシマシタ——第一款ハ皇室費デアリマスルガ、是ハ憲法ノ規定ニ據テ、議會ノ協贊ヲ要セナイモノデアリマスル、デ是ハ議ニ於テ修正モアリマセヌシ、又之ニ付イテ議員諸君カラ反對ノ御通告モゴザイマセヌ、ソレデ外務省所管ノ歳出經常部全部ヲ議題ニ供シマス

(委員長報告通異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 外務省所管ノ歳出經常部ニ於テハ、別段原案ノ通御異議ハ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス。歳出臨時部ニ移リマス、歳出臨時部ノ外務省所管全部ヲ議題ニ供シマス、是モ別段修正モ又反對ノ報告モゴザイマセヌカ、此外務省所管ニ付イテハ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス。内務省所管ニ移リマス。第一款第二款ハ、別段修正又反對通告モアリマセヌカ、即チ此一款二款ニ付イテハ別段御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 一款二款ハ御異議ガナイモノト認メマス。第三款ニ移リマス。角田眞平君

〔角田眞平君登壇〕

○角田眞平君 私ハ遺憾ナガラ豫算ニ於テ第八頁ノ所、警視廳舎新築費十六万五千二百六十五圓、及其前ノ八頁ノトコロト關聯シテ居ル。四十五万有餘圓ニ關聯シテ居ルトコロ、此十六万五千二百六十五圓ト云フモノヲ削除スルト云フ説ヲ提出シマス、此事ニ付イテハ、本日討論中姑ラク諸君ノ御耳ヲ汚サナケレバナラヌデア、其原因ハ警視廳ヲ廢止スベシト云フ譯ヲ以テ、此費用ヲ削除シヤウト云フノガ私ノ説ゴザイマス、故ラ警視廳ヲ廢止スルト云フモノノ理由ヲ御聽キニ達シマセヌカ、私ノ説ガ成立スヌ、私ハ希クハ輦轂ノ下ニ住居シテ居ル光榮アル吾々ハ、地方ノ諸君ニ向テ甚ダ羨シキ近年ノ有様ヲ御報告シテ、此議場ニ於テ御聽取ヲ願ヒ、列席内閣大臣ハ之ヲ聽取ラレマシテ、希クハ憲法ニ許サレタル言論集會ノ自由、希クハ生命財產ノ自由ヲ安固ニ致シタイト云フコトヲ諸君ニ訴ヘネバナラヌデア、内務大臣ハ先頃親切ニ請願委員會ニ於テ説明セラレマシタ、幸ニ今日ハ議場ニ御列席ゴザイマスカ

現内閣ノコトハゴザイマセヌカ、前内閣ノ事、引續イテ現内閣ガ前後ノ事ヲ御處置下サルコト、信ジテ疑ヒマセヌカ、詳カニ所思ヲ御述ベ下サレバ、實ニ二百有餘万ノ市民ハ安心ガ出來ヤウト存ジマス、ソレ故ニ各々トコロナク御答アラントト希望致シマス、吾々ハ東京府ト云フモノヲ持ッテ居ル、東京市ト云フモノヲ持ッテ居ル、其上ニ警視廳ト云フモノヲ持ッテ居ル、其煩雜極マルコトハ、諸君ノ知ルトコロノ如キモノテナイ、甲ノ所ヘ持ッテ往ケバ、乙ヘ持ッテ往ケト云フ、乙ヘ持ッテ參レバ丙ヘ持ッテ往ケト云ハレル、其甚シキニ至ッテハ、官廳ノ間ニ一年有餘ヲ超ヘテ、尙決セザルコトガアル、是ハ内相ノ詳ニ知ルトコロデアラウト思フ、私ノ言フトコロガ實デアルカ虚デアルカハ、蓋シ内相ガ屬僚ニ御尋ネニナレバ直グニ分ルコトゴザイマス、又東京市會ハ決議シテ請願ヲ致シテ居リマス、其要領ハ如何ニモ時勢ニ伴ハナイト云フ事或ハ權力ヲ濫用セラレ、トコロニ弊ガアルト云フ如キ、或ハ事務ノ統一ヲ缺クト云フガ如キ事ヲ臆列ヲ致シテ居リマスルガ、是ハ私ハ以下順次ニ述ベルトコロニ據テ自カラ明カニナリマスカラ、私ハ其事ヲ臆列ヲシテハ陳述ハ致シマセヌカ、而カモ官廳ノ上ニ於テスラ、統一ヲ致シテ居リマセヌカ、高等警察ノ或物ハ警保局是ヲ管轄シテ居リマス、尙高等警察ノ或物ハ警視廳是ヲ管轄シテ居リ

マス、其政令ニ途ニ出アル、諸君ガ試ニ地方カラ電信ヲ打ッテ内務省ニ聞カレラバ、警保局カラ電信ヲ以テ返事スル、又警視廳カラ電信ヲ以テ返事スル、而シテ其多クハ警視廳カラ返事シタモノガ採用サレテ居ル、是又内相ノ屬僚ニ御下問ニナレバ詳ニ分ルトコロゴザイマス、又勳モスルト云フト警視廳ト云フモノガ外國ニ在ルト云フコトニ付イテ、雙方ガ争ッテ居リマス、吾々ノ知ルトコロノ餘所ノ警察事務ハ、是ノ如キ東京ノ警察事務ノ如キモノデハゴザイマセヌカ、例セバ能ク金城鐵壁トシテ佛蘭西ヲ引合ニ出スガ、アノ國體ノ佛蘭西ヘ、明治初年ニ日本カラ往ッテ教ハッテ歸ッテ來テ、此立憲政體ノ今ニ之ヲ應用シヤウト云フ程驚入タコトハ無論ナイ、加之少ナクモ其國家事業ニ付イテハ僅々拘引ニ立會フトカ何ヲスルカ云フ位ノコトデ、他ノ司法事務ニ至ッテハ、區裁判所ノ檢事ニ隸屬シテ、其命令ハ著々行ハレテ居リマセウカ、東京ニ於テ此事ガ行ハレテ居ラヌデアリマス、諸君、試ニ政治上ノ問題ニ付イテ如何ナルコトヲ捜査シヤウト云フトキニ、檢事ノ意ノ如ク捜査ヲ仕途ゲタコトゴザイマスカ、是ハ私ガ滿場ノ諸君ニ訴ヘネバナラヌトコロガアル、證據ヲ所持シテ諸君ノ御披見ニ入レヤウトシテ、僅カバカリノ證據ヲ持ッテ居リマスカラ、其時ニ詳ニ申上ゲマス、又司法事務ノ上カラ參リマスト云フト、或ハ京都ノ如キ或ハ大阪ノ如キ、同シ府デゴザイマシテモ、總テガ意ノ如クニ檢事ノ命ノ下ニ、依ッテ證據ヲ蒐集、其他ノ事ガ舉ッテ居リマス、東京ハ如何デゴザイマスカ、警視廳一度已ノ意ニ適ハヌト致シマセヌカ、幾年經ッテモ舉ッテ例シナシテゴザイマス、ソレ故ニ私ハ我國ノ制度ト外國制度ノ上ニ於テ、若シ同一ノ場合ガアルトナラバ、其同一ノ場合ヲ御指示アラントト希望スルノデアアル、又東京ハ中央ノ都府輦轂ノ下デ、高等警察ガ最モ必要デ、内閣ガ茲ニ在ッテ是ノ如キ處ハ別デ、他ノモノト比較スルコトハ出來ヌト論ジマス、果シテ然ラバ同ノデアアル、一番大切ナルトコロノ内閣諸公ノ身體ハ、如何ニ今日マテ安全ニ保障セラレマシタカ、大久保利通公ハ如何デゴザイマセウ、警視廳能ク之ヲ豫防シ得タカ、森有禮君ノ遭難ハ如何デゴザイマス、警視廳能ク之ヲ豫防シ得タカ、尙甚ダシキハ世論囂々トシテ殆ド上下沸騰シタトキノ大隈伯ノ遭難ハ如何デア、是ノ如キ賭易キ道理ハナイデハナイカ、未ダ身命ヲ取ラレマセヌカ、吾々ガ新富座ニ於テ演説ヲスルト云フト、此處ニ劍戟ヲ持ッテ暴レ込メ、甚ダシキニ至ッテハ往來テ斬ラレタ者ガ幾ラモ有ル、併ナガラ是ノ如クニ豫防スル前微ノアツタコトハナイデハゴザイマセヌカ、然ルニ大隈伯ノ遭難ハ、警視廳能ク之ヲ保護シ得タカ、警視廳ナルモノハ、大切デアアルト云フ論題ハ、是ノ如キ事ヲ意味シテ主張スルノニ、其重モナルモノハ、是ノ如キ事實ガ現ハレテ居ル、予輩甚ダ之ヲ保護スル人ノ意ノ在ル所ガ分ラヌ、又明治二十五年二月十五日ノ選舉干渉ハ定メテ全國至ル所ニゴザイマシタラウ、ソレ故ニ是ハ別段ト云フカモ知レヌ、東京ノ選舉干渉ニ至ッテハ、地方ノ選舉干渉ノ如キモノデハゴザイマセヌカ、白晝巡查ト壯士ガ一緒ニナッテ、片端カラ斬ッテ歩リタ、拙者モ屢々斬ラレタデアアル(笑聲起ル)拙者等屢々捕マヘニ來ラレテ、甚ダシキニ至ッテハ、二十五名ヲ牢ニ打込メ、ソレガ保護ヲ受ケテ歸ル時ニ、是ガ斬ラレタデアアル、是ガ輦轂ノ下ニ住シテ居ル光榮アル人、民ノ慘禍ヲ受ケタル有様デゴザイマス、而シテ最モ大切ナルモノハ政治上ニ參與スルトコロノ權利デゴザイマス、是ヲ冷笑シタナラバ諸君ガ議場ニ立ッテ甲斐ハ無カラウト思フ、其選舉ニ立ッテ時ニ於テ、是ノ如クデアアル獨リ是ノミナラス、二十八年九月五日六日ノ騷

動ハ、或ハ知ルノ諸君モアリ、或ハ知ラヌ諸君モアリマセウ(新聞見タト呼フ者アリ)吾々ハ新ニ一億六千万圓ノ稅ヲ附加セラレ、約二十億ノ借金ヲ背負サレ或ハ戰死シ、或ハ病ニ罹リ、或ハ傷ケラレタル者茲ニ四十三万九千人、是ノ如ク國ニ報ジテ居ル、其戰ノ結果ニ付イテ政治上ノ意見ヲ吐露センガタメニ、此忠勇ナル國民ハ、公園ニ集ラントスルト云フト、吾々ハ曾テ矢來ナルモノハ竹テアルコトヲ耳ニシ、之ヲ目ニシテ居ル、東京ノ政府ノ矢來ハ、四谷丸太ニ依テテ造ラレタノテアル、四谷丸太ノ矢來ハ公園ノ周圍ヲ殘ラズ閉鎖シテ、市民ノ建設シテアルトコロノ、此公園ヲ參事會ニ一通ノ交渉通知モナクシテ之ヲ閉鎖シテシマツタ、此時ノ有様ニ依テ騷擾ガ起ツタ、若シ夫レ事實ト云フコトヲ諸君ガ之ヲ御看察ニナダナラバ、政府ガ挑發シテテアリマスカ、此騷擾ハ人民ガ致シタノテゴザイマスカ、疑ヲ挾ムノ餘地ハ無イ筈テアル、之ニ依テ東京市ハ到ル處ニ騷擾ガ起ツタ、其騷擾ノ難ヲ避ケヤウトシテ、難ヲ被ムタ者殆ド數フルニ違ガナイ、ソレ故ニ私ハ、一一ノ例ヲ擧ゲル、例ヘバ三浦檢事ノ如キハ、書類ヲ提ケテ、官廳カラ自身ノ家ニ戻ラウトスル時ニ、巡査ニ「ソレハ何ヲ持ッテ居ルノダ」ト言ハレタ、是ハ役所ノ書類デア「ト云フト、「此方ニ寄越セ」裁判所ノ書類ハ巡査ニハ渡サレヌ」ト拒ンダ「足下ハ何ダ」檢事デア「ドヲ吐カス」ト斬ツタノデア「笑聲起ル」何ヲ吐カスト斬ツタノデア、斬ラレタ人ハ重傷ヲ受ケタノデア、福地源一郎君ノ孫某ハ、醫科大學生デアテ、尙餘暇ニ顯微鏡學ヲ研究シテ居ル、顯微鏡ノ教師ノ所ヘ往ツテ、歸ッテ來ル時ニ、矢庭ニ斬ラレテ溝ニ突ノメサレテ、而モ遺棄セラレタノデア、隣人相援ケテ病院ニ入レタノデア、朝日新聞記者三澤素竹君ハ人靜マツテ犬吠ニル頃、午前一時ニ於テ、自分ハ空車ヲ輓カセテ、己レハ「フロクコート」ヲ著テ家ニ歸ラウトスル時ニ、矢庭ニ巡査ガ斬ツタノデア、此斬ツタ巡査ノ腕ノ鈍サト、太刀ノ鈍イノデ、「ツボン」釣ニカチリトヤッタノデ、辛フシテ助カッタノデア、此處ニ居ラレル、林田書記官長ハ屢、斬ラントシテ屢、通レタノデア(拍手笑聲交、起ル)又己レノ家ガ今火事ヲ燒ケントスルタメニ、實印ト書類トヲ風呂敷ニ包ンテ這出シタルトコロノ八十一ノ老人ガ斬ラレタノデア、己レノ家ト云フモノハ僅ニ其家ヲ人ニ貸シテ食フトコロノ家ガ將ニ燒ケントスルタメニ、水ヲ搬ンテ往ツタ七十三歳ノ老人ハ斬ラレタ、十三歳ノ小僧ハ斬ラレ、十四歳ノ小僧ハ斬ラレタノデア、又内田憲兵隊長ノ報告ニ據ルト一等憲兵卒ハ櫻田門外ニ於テ巡査ニ股ヲ斬ラレテ、豫備病院ニ送ラレタ報告ガアル、而シテ是等ノ人ヲ集メテ檢事ノ報告スルトコロニ據ルト、人民ハカリ殺サレ、重傷ヲ負ハサレ、輕傷ヲ負ハサレタ者ガ五百九十二人デアリマス——五百九十二人デアゴザイマス、是ガ檢事ノ報告デアゴザイマス、而シテ今日ニ至ルマデ某巡査ガ如何ニ處置セラレマシタカ、之ニ反シテ人民ノ方ノ側テ火ヲ放チタラウ、喧嘩ヲシタラウト云フモノハ四百有餘人拘留ニナツテ、是ガ放免ニナツテ、百二十有餘人ハ河野廣中君ヲ始メ重罪及輕罪ニ移サレタ、二百萬人ノ中カラ其搜查スルニハ骨ノ折レルノハドンノ、搜查ラシテ呉レル、タツタ二千人ノ巡査——三千人ノ巡査ノ中カラ六百八、斬ラレタ人間ノ搜查スルコトガ出來ヌトハ、何事デアゴザイマス、是ノ如キ國ガ世界ニゴザイマスルカ、私ハ是ニ於テ證據ノアルモノヲ諸君ニ二三朗讀スル、辯護士鈴木充美君、辯護士樫原三四郎君、ノ立會ニ依ッテノ報告書、即チ斬殺サレタル人ノ報告書、趣ノ變タモノヲ三四點私ハ讀ム

浮貝恆藏開取書

一 自分義去ル五日父彌三郎ト同道ニテ午後八時日本橋ヨリ芝區ヘ用事アリテ同所ニ趣キ歸途十二時頃國民新聞社ノ横町ヲ通り懸リタルニ人立チアル故立止リテ之ヲ見タルニ多數ノ巡査兵士等爰ニ居リタリ然ルニ二十名餘ノ巡査ハ突然ニ拔刀ニテ自分等ヲ追驅ケ來リタル故父ト共ニ逃ケ去リ宗十郎町朝日新聞ノ傍ラニ至リタル處父トハクレ父ハ姿ヲ見失ヒタル故父ハ定メシ歸宅シタル者ト思ヒ自分直チニ歸宅シタリ

然ルニ其夜父ハ歸宅セサリシ故大ニ心配シ翌日九時頃京橋警察署ニ就テ父ノ所在ヲ搜索セシモ分ラヌ十一時頃本所警察署ニ至リ母ト二人ニテ行き前田警部ニ面會其話シラスルモ分ラヌ二十間堀ノ分署ニ至リ尋ネタレハ居ラヌト答ヘタリ夫レヨリ警視廳ニ至リ門衛ニ取調ヲ乞ヒタルニ取調ヲ拒絶セリ

七日淺草福町龜谷横町ノ警視廳ノ出入覺職太田勇松ニ頼ミ京橋署ニ至リ取調タルモ居ラス警視廳ノ知人ニ依頼シ留置所ヲ取調ヘ貰ヒタルニ是又居ラス夫ヨリ胃腸病院ニ問合シタルモ居ラス

八日東京監獄署林病院京橋區役所ノ橋爪病院日本橋區久松町警察署等ヲ取調ヘタルモ分ラヌ續イテ京橋區ヲ取調ヘタルニ二十間堀ノ分署ニ捕ヲ懸ケタル死骸アリ巡査ノ云フニ國民新聞近所衛生組合事務所ノ窓下ニ倒レ居レリト云フヲ以テ尙ホ問合シタルニ帽子ヲ冠リ下駄ヲ穿チタル儘倒レ居レリト云フ

殆ト數日ノ間往來ヘ置イテ三日目ニテ之ニ捕ヲ引掛ケテ分署ノ中ヘ投込シタメ是カ即チ我々ノ敬愛スルトコロノ鈴木充美君、及樫原三四郎君ノ立會ニ依ッテ調ヘマシタ、報告書アゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ三宅碩夫ト云フ辯護士ニ依ッテ證據立テラレタル調書デアリマス、「レザ」商會ノ濱守園次郎ト云フ人

一 本月六日午後十時頃商用ヲ終ヘ神田方面ヨリノ歸途中山邸前ニ至リシニ車輻撞打ノ際歸途ヲ民衆ノ爲メニ塞ガレ、ニ依リ東京市街鐵道株式會社社員安達泰睦ト共ニ其燒燬ノ模様ヲ傍觀シ居タリ

二 時シモ神田方面ヨリ蒸氣ボンブ馳セ來リシ故中山邸門ノ南方電柱ニ倚リ混雜ヲ避ケ居リシボンブノ駐ルト同時ニ車上ヨリ拔劍ノ警部飛ビ降り濱守ノ頭上ニ斬リ込ミ其溝中ニ陥ラントスルヤ其警部ヲ刺傷セリ顛頂部ハ大約長サ十仙迷深サ骨ニ達シ右警部ハ長サ約三仙迷深サ不明ノ創傷ナリ

三 前項ノ事實ハ中山邸内ニ居住セル桑垣周次ナル者被害ノ場所ニ臨メル窓内ヨリ現ニ之ヲ目撃シタリ且ツ構内ヨリ汚土ニ塗レタル被害者ヲ引揚ケシ者アリシカ被害者ハ誰カ予ノ店ハ電話新橋三千八百八十八番ナレハ濱守カ遭難ヲ店員ニ報シクレト云ヒ出テシカハ桑垣ハ直チニ中山邸ニ至リ米倉執事ニ依頼シ其電話ニヨリ店員カ現場ニ至リシ際ニ桑垣ノ保護ニ依リ有樂町一丁目廣井醫院ニ運ヒシニ重傷ノ上ニ數多詰メ掛ケ至急ニ手當ノ成ラサルヲ以テ之ヲ他ニ轉送セシメ胃腸病院ノ石崎團一氏カ應急手當ヲ施シ東京病院ニ入院セシメタリ東京病院ノ主任醫ハ猿田甲子郎氏ナリ

四 店員カ胃腸病院ニ至リシ際ハ其店員カ來リシヲ告ケシ辛フシテ返事セシノミニテ

爾來何等ノ談話ヲモ交フル能ハス同月七日午前一時遂ニ死去セリ診斷ニ依レハ
死因ハ腎部ノ刺傷ヨリ勝ヲ破リ出血ノ爲メ腹膜炎ヲ起セシモノナリト
五 遺族ハ清一ナル十五歳ノ長男一人ノミレザリノ販賣其緒ニ就キ店舖ヲ開キ店
員七八名ヲ使用セル家政向ナリシ
六 養弟濱守正義大阪ヨリ歸リ告發スル事ニ決シ同月九日三宅碩夫ヲ代理人ト
シテ告發セリ

七 東京控訴院高地檢事ハ時ヲ移サス書記ヲ從ヘ檢案ノ爲メ出張被致醫員桑垣
等ノ諸氏ヲ訊問セリ警部ノ服裝ナルコトハ桑垣ノ讒言スル所ナルモ其氏名ハ猶不
明ナリ

是ノ如ク此人ハ失敗ニ失敗ヲ重テ非常ナ辛苦ノ結果、數万ノ資産ヲ拵ヘテ、八人
九人ノ店員ヲ置イテ、一人ノ十五ノ子ヲ何ヨリ樂シク廣ク世間ニ手ヲ擴ゲテ商賣シテ
居テモノカ是ノ如キ日ニ遭テ殘殺サレタノデゴザイマス、(モウ大概分テ居ル)ト呼
者アリ)モウ少シ御聽テ願ヒタイ——是非トモモウ少シ聽イテ貫ヒタインダ、十六歳ニナ
リマス森一間ト申シマスルモノハ、斯様ナ目ニ出會テ居リマス 檜原六四郎氏立會テ
調書ガ出來テ居ル

一自分俸一間ハ向島寺島村中山平次郎文庫紙工場ニ年期中去ル六日午後主人
方子供某十三歳ハ日本橋區重田某方ニ商業上ノ用事ニテ行キ歸途藏前ニテ耶蘇
教會堂ノ火災ニ罹ルヲ見直チニ歸宅夜食モ了ラスシテ右近傍ノ安部川町ノ主人方
ノ親戚某ニ見舞ニ行キ夫レヨリ一同ノモノト今戶警察分署附近ノ石屋ノ石材ノ上
ニ登テ騷亂ヲ見物シテ居リタル際其向ノ某寺門ヨリ一人ノ巡查出テ來リ拔劍ニテ
追ヒ掛ケラレ五六人ノモノト逃走中七箇所ノ重傷ヲ負ヒ即死シタルモノナリ
一翌七日午後三時頃死體發見シ市警ノ檢案ヲ受ケタリ
前ノ日ノ午後三時頃カ翌日ノ午後三時頃、死體ヲ發見シタ、三人ハ是ハ、殺サレタ、後
トハ同ヨコトカラ讀マス、尙諸君ニテ聽イテ貫ヒタイ簡單ナモノガアル、其一ツハ十四
歳ニナル子、又其一ツハ十四歳ニナル子、是ハ僅カナトコロ讀ミマセウ

折柄巡査十數人拔刀ニテ馳來タルニ依リ逃ケ去ラントシテ物ニ躓ツキ倒レタルニ付キ
起キ上リタルトキ忽チ後ヨリ右耳ヲ斬下ケラレタリ
右ノ耳ヲ切テシマハレタ、サウシテ本郷ノ留置場ヘ連レテ行カレタノデアアル、但シ拘引ヲサ
レテ

警察署ノ門内ニ入ルヤ數名ノ巡査等左右ヨリ亂打ヲ加エタリ
斬上ニ亂打ヲ加ヘタ、十四ノ小僧ヲ斬上ニ又巡査ガ亂打ヲ加ヘタノデアアル、關幸
太郎君ノ調書ニ依テ報告ガ出來テ居ル、モウ一ツテ御シマヒ、宮本孝之助ト云フ人ニ
付イテハ斯様申シテ居ル

私共ハ店ノ用テ七日ノ午後三時少シ過キニ本所ノ永倉町一番地ノ玉川商店ヘ居
ケル鐵物ヲ車ニ積ンテ孝サント三人デ奥イテ參リマシテ向フ著イタノガ五時頃テゴザ
イマシタツレカラ向フ出タノガ夜ノ八時十五分頃頃テアツト思ヒマス店ノ提灯ヲ點
ケテ二人急ギ足デ……被害者ノ孝サノガ真中ニナリ私共二人ガ左右ニ立テ三人
列ンテ話ヲシテ急ギ足テ道路ノ右側ヲ歩イテ度本所ニツ目通リヨリ二丁計リ
手前ノ所ヘ差掛リマスル警官ガ一人兩手ヲ斯ウ云フ鹽梅ニ組ンテ(右手ヲ下ニ左
手ヲ上ニ交又ノ狀ヲ示シ)右ノ手ニ拔劍ヲ引提ケテ其拔身ヲズト後ロノ方隱シテ其

處ニ立テ居リマシタ吾共ハ何ノ氣ナシニ其處ヲ通り過ギヤウトスルトコロイキナリ
拔身ヲ振冠テ真中ニ立テ居タ孝サノ頭ハ物ヲモ言ハズバツサリ斬付ケタノデアス私
共ハ此有様ヲ見テ膽ヲ潰シテ一生懸命跡ヲモ見ズニ逃出シテ夢中テ店ヘ歸ッテ來タ
ノデゴザイマス

ソレカラ少シ飛シテ
ナニモ無提灯ヲ歩イテ來タノデナイ店ノ定紋打ッテ提灯ヲ麗ケテ點ケテ居タノデア
セ孝サノハ四太刀喰ッテ倒レタサウデアス私共ハ初太刀ヲ浴ヒセラレタ時ニ夢中テ逃出シ
タカラアトノ様様ハ存シマセヌガ病院ニ這入ッテ私ガ見舞ニ往クト孝サノハ氣丈ナ人デ
醫者モ驚イテ居ル位デアスカ詳シク話ヲシテ聞カセマシタガ何モカモスツカリ知ッテ居リマ
ス最初ノ一太刀ヲ頭ノ前ノ方深クヤラレテ二ノ太刀ガ來タカラ、ヒヨイト身ヲ避ケル
途端ニ左ノ肩ヲヤラレタウデアス二太刀喰ッタ時ニ孝サノガ俺レハソナ者デヤナイ鐵
物屋ノ車力ヲ助ケテクレト云ッタラニ畜生ト云ッテ三太刀目ニ右ノ肩ヲシタカヤ
ラレタ之レガ餘程重イ創ヲサウデアス幾ラ氣丈デモ三太刀目喰ッテヤマセヌヨロク
ト前ヘノメッタ所ヲ四太刀目ニ頭ノ後ロノ方ヘ一太刀目喰ッテサウデアスソレデ
到頭孝サ
ンモ其處ニ倒レテシマッタサウデアス向フカラ巡查ガ二人來テ君ドウシタウウヤツケテ
シマッタア——ソウウウウカト云ッテ二人ハ兩國ノ方ヘ往ッタクデアス斯ウ云フ事マデヤ
ント知ッテノデアス剛氣デヤゴザイマセヌカソレカラ斬ッテ巡查ガ孝サノ警察引摺
テ參ッテサウデア、孝サノハ如何ニモ出血ガ激シイカラ、コレハ血ガナクナッテ死ト思
タカラ、醫者ニ掛ケテクレト云フコトヲ六度頼ンダガドウシテモ醫者ニ掛ケテクレナイ
度僅促シテヤツト醫者ガ來テ續ッテクレタト云フコトデアス其中ニ血ヲラケニナッテ居タ
寸口ノ著物ヤ股引ヲ脱イテシマッテ裸體ニシテ建ニ載ッテケテ其上ニ一枚建ッ掛ケテ置
イタサウデアス暫クスルト足音ガスルカラ誰レカ來タナト思ッテ居ルト建ッ上ゲテ見アコ
畜生クダバッテシマヒアガタナト云フモノガアルカラマダ生キテ居ルニ死人扱ヒヨサレテ
大變タト思ッタカラ孝サノガエンノトツ咳ヲシタウデアス畜生マダ
生キテ居ヤアガルト云フ孝サノハ是ヲ聞イタ時ニ腹ノ中テ口惜クテ、堪ラナカッタ
ト染ヒ私ニ話シテ居リマシタ孝サノノ話ニ依ルト斬ッテ巡查ノ奴ガ顔ハ夜分テ分ラナ
カッタガ年頃ハ三十五六ノ奴滅法身長ノ大キイ奴デアッタサウデアスアナンタ大キナ巡查
ハ警察署ニ三人トハアルマイト斯ウ申シテ居リマシタ本人モ大柄ノ男デアスガソレヨリモ
マダ大キナ巡查デアッタト云フコトデアス傷ハ何レモ重イ方テ頭ノ前ノ方ヲ斜メニヤラレタノ
ガ四針ソレカラ右ノ肩ガ七針左ノ肩ガ六針ソレカラ頭ノ後ロノ方ガ四針程縫マサウ
デアス亂暴ノ巡查モアレバアツタモノデアス

斯ウ云フ譯テ終ニ此人重傷ニ陥ッテ此節ハ息ノ根ガアルカナイカハ調ベテ居リマス、是
如キ諸君有様、是ノ如キ有様、此習慣ハ何カラ來ルト云フト、地方稅丁已等ガ生活ヲ
シテ居テ、事アル時ニハ大切ノ人民ニ向ッテ、鋒ヲ向クルノガ役目デアルト理解シ來ツタ、
此警視廳ノ整テゴザイマス、ソコデアスモ尙内務大臣ハ改良ヲ加ヘテ存シヤウトシマスル
ガ、是ハ泰山ヲ挾ンデ、北海ヲ超ユルヨリハ尙難イ、是ノ如キモノニ改良ヲ加エルトハ、
抑モ何ノコトデゴザイマス、諸君、是アルガ爲メニ吾共ハ警視廳ヲ廢メヤウト云フ、警視廳
ヲ廢メヤウトスルカラ十萬有餘圓ノ金ヲ減シヤウトスルデアス、若シソレ諸君之ヲ聽カ
ナイテ、政府ノ意思ヲ迎ヘテ、晚イテ大厦高樓ヲ建築シテ、政府ニ捧ケントスルナラバ、諸
君ハ國民ノ意思ヲ斟酌シテ吳レズシテ、政府者ノ意思ヲ迎合スルモノデアル(ヒヤク)

七

七

七

七

ト呼フ者アリ)甚ダ遺憾ノ至リテアル、此分ハ御否決アラシコトヲ希望致シマス

(拍手起ル)

(内務大臣原敬君登壇)

○内務大臣(原敬君) 唯今ノ角田君ノ御演説ニ御答ヘ致シマス、實ニ數千言ヲ費シタリト申シテモ宜シイ、長イ演説ヲ拜聴致シマシタガ、抑、大久保内務卿ノ遭難以來、大隈伯ノ遭難、十幾年前ノ選舉干渉以來、昨年九月ノ出來事ニ至ルマテ、十分ニ御演説ニ相成リマシタ、此事實ハ、御同様ニ私共モ承知致シテ居ルガ、茲ニ一言角田君ニ向テ御答致シタト考ヘルノハ、私ハ既往ノ事實ニ付イテ責任ヲ持ツコトハ出來ヌト云フコトハ、前以テ御承知ヲ願ヒタイ、而シテ或ハ感情訴ヘ、或ハ制度ノ不備ナルコトヲ論ゼラレタ、此制度上ニ關シテハ、私ハ請願委員會ニ於テ既ニ陳述致シタルガ如ク、時勢ノ進歩ニ伴ウテ、總テノ事業、官廳ノ規則慣例、皆改良ヲ加ヘナケレバナラヌコトハ、當然ノコトデアリマス、故ニ獨リ警視廳ニ向テノミトハ申サヌガ、殊ニ警視廳ニ向テ十分ノ改良ヲ加ヘヤウト考ヘテ、其事ニ著手ヲ致シテ居ル、此事ハ、請願委員會ニ於テモ詳シク申述ベシマシタ、唯今角田君ノ御演説ニ依レバ、巡查ガ是ノ如キ事ヲ致シタ、何人ガ斯様ナ處置デアッタト云フ、昨年九月ノ出來事ヲ例證シテノ御演説デアリマスルガ、此事ニ付イテ責任ヲ持タヌコトハ、前以テ御斷リ致シタ通デアル、而シテ若シ斯様ナ事ガアツタガ故ニ、警視廳ヲ廢スルト云フ懲罰的ノ意味ヲ以テ、廢止論ヲ唱ヘマスル譯ナラバ、巡查ガ斯様ナ處置ヲナシタガ故ニ、將來巡查ヲ廢スルト御結論ニナルデアラウト思フ、(「ノウウ」)ト呼フ者アリ)少シク私ハ其當ヲ得ナイト考ヘル、反對論者ハ「ノウ」ト唱ヘルコトハ怪シマヌガ、能ク御考ヘナサイ、凡ソ制度ヲ論ズル、國家ノ事柄ヲ慎重ニ議スルニ當テハ、少シク冷靜ナル判斷ヲ願ヒタイノデアル、(「無論冷靜」ト呼フ者アリ)吾々ハ此制度ニ向テ改良ヲ加エレバ角田君ノ御心配ニナル如キコトハナカラウト信ズル、(「駄目」ト呼フ者アリ)ソレハ見ルトコロデアアル、駄目ト見ル人ハ駄目ト云フ反對論ヲ取テ宜シイガ、政府ノ所信ニ於テハ、日本ノ是ノ如キ大都會ニ於テ政治ノ中心デアリ、又商工業ノ中心デアアル、人事ノ複雜ヲ極メテ居ル處ニ向テ、地方ニ於ケル府縣同様ノ制度ヲ布ケト云フコトニ付イテハ、絶對的ニ反對ヲ表スルノデアリマス、(「ヒヤウ」)ト呼フ者アリ)私ハ警視廳ノ制度ヲ此儘ニ存シ、改良スベキモノハ改良ヲ加ヘテ、十分ニ保護ノ目的モ達シ、警視廳存置ノ最初ノ理由ヲ十分ニ達スル考デアリマスカラ、此廢止論ニハ絶對的ニ反對論ヲ表明致シマス

○島田二郎君 發言ヲ求メマス

○守屋此助君 發言ヲ求メマス

○議長(杉田定一君) 通告ガアリマス——新井章吾君

○花井卓藏君 内務大臣ニ質問ヲ致シタイ、唯今ノ演説ニ對シテ……

(新井章吾君登壇)

○島田二郎君 發言ヲ求メラレタノハ、何方デゴザイマスカ、伺ヒタイ

○議長(杉田定一君) 此次ハ早速整爾君

○島田二郎君 今早速君ガ發言ヲ求メラレタノデアデガ……

○議長(杉田定一君) 此次ハ早速整爾君ガ……

○島田二郎君 唯今早速君カラ本員ニ發議シテ宜シイト云フコトデアリマスカラ、差支ナイト思ヒマス

(新井章吾君登壇)

○新井章吾君 此内務省所管臨時部第三款警視廳延築費ヲ削除スルト云フ角田君ノ説ニ反對ヲ致スノデアリマス、角田君ハ種々ナル例證ヲ引カレテ今日マデ警視廳並ニ警察官ノ執ラレタルコロノ處置、及其行爲ニ付イテ非難ヲ致サレマシテゴザイマスガ、此角田君ノ例證サレタルコロノ事實ト云フモノハ、或ハアツタデアリマセウ、殊ニ昨年ノ日比谷騷動ノ如キハ、大ニ其事實ガアツタト私モ同意ヲ表シテ差支ナイノデアル、併ナガラ選舉干渉ノ事ト云ヒ、日比谷騷動ノ事ト云ヒ、此警視廳ノ行爲ト云フモノハ、即チ其人ニ屬スルコトデアツテ、警視廳其者ノ致ストコロデアナイト思フノデアリマス、若シ人其宜シキヲ得タナラバ、決シテ不都合ノ行爲ハ致サヌ管デアル、其人宜シキヲ得レバ、不都合ノ事ハ起ラヌノデアアル、警視廳ガアルカラ惡ルイコトガ起ルト云フ譯ハ決シテナイト思ヒマス、若シ角田君ノ論法ノ如ク致セバ、明治二十五年デアツタカ、選舉干渉ノ時ニ隨分警察官ハ人ヲ殺シ人ヲ斬ツタト云フコトガアル、是ハ角田君モ自カラ、言ハレテ居ル、又角田君ノ壯士モ人ヲ斬ツタヤウデアツタ、又人ニ斬ラレタヤウデアアル、ソレ故ニ斯様ナコトハ其人ニ屬スルコトデアツテ、斯様ナ亂暴ナコトヲ警察官ガ致シタカラ、ソレテ、警視廳ガ惡ルイコト云フナラバ、選舉干渉ノ時ニ人ヲ斬ツタ警察官ハ皆罷メナラレバナラヌト云フコトニナル、九月ノ五日ト雖モ左様デアアル、警視廳ニ於テ其人宜シキヲ得タナラバ、斯様ナコトハナカッタノデアラウケレドモ、其人宜シキヲ得ナカッタカラ、斯様ナコトガ出來タノデ、警視廳ガアルカラ、斯ウ云フコトガ起ツタト云フコトヲ斷言スルノハ、甚ダ不都合ト思フノデアアル、是ノ如キ御論ハ、所謂感情ニ制セラレテ立テラレタ御論デアツテ、吾々ハ決シテ是ニ同意ヲスルコトハ出來ヌノデアアル、今日動モスレバ此警視廳廢止論者ノ中ニアツテハ、警視廳ヲ存スルノ理由ハ如何ト云フコトヲ、頻リニ論ゼラル、ノデアアルガ、抑モ此警視廳ヲ存スルト云フコトハ、既ニ歴史上定マツタコトデアツテ、其必要アツテ存シタノデアアル、(「笑聲起ル」)反對論者ハ之ヲ廢サウト云フナラバ、廢スダケノ十分ノ理由ヲ備ヘテ來ナケレバナラヌ、警視廳廢止論者ニ於テ十分ノ理由ガアツタナラバ、吾々モ或ハ同意スルカモ知レヌ、其理由ノ十分ナルモノガナクシテ、之ヲ漫然廢サウトスル如キハ、所謂感情ニ制セラレテ國家ノ事ヲ誤ルモノト言ハナケレバナラヌ、又此警視廳廢止論者ハ、此議論ヲ提出スルニ於テ、即チ機會ヲ誤ッテ居ルト云フコトヲ、私ハ言ハナケレバナラヌ、即チ此場合ハ豫算ヲ議スル時デアアル、豫算ヲ議スル時ニ當テ、此削減説ヲ出シ、警視廳廢止ノ目的ヲ以テ、削減説ヲ出サル、ノハ、其當ヲ得ヌト言ハナケレバナラヌ、(「ノウウ」)ト呼フ者アリ)或ハ角田君ハ斯ク言フカモ知レヌ、豫算ニ於テ削減ヲスルノハ、即チ警視廳ヲ廢止スルノ目的デアアル、警視廳ヲ廢止スルノ目的デアルガ故ニ、其費用ヲ削除スルノデアアルト言ハレルカモ知レヌ、然ラバ經常部第五款ノ警視廳ノ費用廢除説ヲナセ出サレヌノデアアルカ(「既定ノ歳出」)ト呼フ者アリ)既定ノ歳出ト雖モ、自分ガ既ニ警視廳ヲ廢スルノ目的ナラバ、其趣旨ヲ以テ削減説ヲ出シテモ差支ナイノデアアル、然ルニ此事ヲ認メテ置イテ、獨リ此建築費ノミヲ削除スルト云フコトハ、自家撞著ト言ハナケレバナラヌノデアアル、此建築費ナルモノハ既ニ遞信省ア中央停車場ヲ造ルタメニ、

立退ノ請求ヲ致サレテ居ルノデアル、故ニ警視廳ガアル以上ハ、必ズ此明治二十九年ニ於テ移轉ニ著手セシケレバナラヌノデアル、然ルニ角田君ハ此經常費ノ警視廳ノ費用二十何万圓ト云フモノニ付イテハ、一言モ言ハレナイデ、唯移轉費ニ付イテ削除スルト云フガ如キハ、即チ其論ト撞著ヲ致シテ、警視廳ノ經常費ハ認メルガ、移轉ヲサセルコトハ出來ナイト云フ議論ニ歸著スル、是ノ如キ議論ヲ以テ此豫算ニ於テ警視廳ヲ廢セントスル如キハ、其議論其日比谷騒動ノ顛末ヲ——其事實ヲ速記録ニ載セルト云フ目的ナラバ宜シカラウカ、若シ警視廳ヲ全然廢サウト云フ目的ナラバ、甚ダ理由ノ乏シキモノデアル、是ノ如キ理由ノ乏シキ議論ニ決シテ贊成ハ出來ヌノデアリマスカラ飽マデモ原案ヲ維持致シマス

(島田三郎君登壇)

○島田三郎君 本員ハ餘リ屢 此演壇ニ登ルコトヲ望ミマセヌノデ、他ニ此論題ヲ御引受ケ下サル御方ガアッタナラバ、其御方ニ願フテ今日ハ謹聽ノ義務ヲ守ル心得ゴザイマシタガ、責任アル内務大臣ガ、餘リ物ヲ知ラザル御答ガアツタカラ、一言報ヒナケレバナラヌト、本員ハ已ムヲ得ズ立ツタノデ、唯今新井章吾君ノ仰シヤツタコトハ、餘リ物ヲ知ラヌノデアリマスケレドモ、歴史のニ知ラヌト云フデモ、民間ノ御方デアルカラ政府ノ内部ヲ知ラナイノデ、私ハ取ルニ足ラヌト思フテ居リマス、長ク官吏ノ生活ヲシテ局ニ當テ居ラル、内務大臣ガ、此警視廳ノ性質ヲ御承知ナイニ至テハ私ハ大ニ此事ヲ論ジナケレバナラヌ、抑、此警視廳ノ存立ニ付イテハ、一旦廢セラレタモノデアツタノデ、或ハ斯様ニ申シマスルト、突然ノ發議ノヤウデゴザイマスルガ、本員ハ此項ニ付イテ大ニ論セントスルニ當テ、先ツ内務大臣ガ存廢ノ上ニ議論ヲ向ケラレマシテ、サウシテ是ハ論題外デアルトカ、論題外デナイトカ云フ、新井君ノ言葉ハ既ニ消ニテ居リマスカラ、直チニ内務大臣ノ本論ニ向テ、本員ハ述ベナケレバナラヌ、次ニ本論ニ互テ建築費ノ削除ニモ矢張同意デアリマス、兩様ニ互テ議論ヲシナケレバナリマセヌガ、抑、警視廳ノ起リハ、明治六七年頃ニ設立セラレマシタ、其當時ノ日本ノ形勢ト云フモノハ、封建俄ニ廢セラレテ四方ニ不逞ノ徒ガアリマシタ故ニ、内閣ハ直接ニ警視廳ヲ置イテ、大イナル權力ヲ與ヘテ、サウシテ四方ヲ鎮壓スルノ用意ガアツタ、然ルトコロ當時ノ形勢ハ西南ノ亂ニ依テ大イニ變ジマシタノデ、本員ハ迦テ當時ノ形勢ヲ觀察シテ見マスルト云フト、當時ノ大政官ガ警視廳ニ大イニ依頼シテ、四方ヲ鎮壓シタト云フトハ、時宜ノ得タルモノデアルト思ヒマス、封建ガ破シマシテ、新タニ職ヲ失ヒ權力ヲ失ツタルトコロノ侍ガ、名ヲ士族ト變ヘテ居リマシテモ、精神ハ依然タル封建時代ノ侍ゴザイマスカラ、此新タナル社會ニ適合スル能ハズシテ、諸所ニ騷動ガ起リマシタカラ、之ヲ防グノニ直轄ノ兵ニアラズシテ、名ハ兵ノ性質ヲ帯ビタルトコロノ警視廳モ必要デアツタノデアル、恰モ當時ノ此形勢ニ應ズルトコロノ外國ノ比例ヲ取テ見マスルト、佛蘭西ガ叛賊ノ徒ヲ鎮ムルガタメニ、中央ノ警察ニ權力ヲ集メテ、サウシテ一時ノ平和ヲ圖ツタ拿破倫三世ノ制度ヲ襲フノハ、最モ宜カラウト云フノデ、新タニ歐洲ヲ觀察シテ歸ラレタル川路大警視ガ、此警察ノ制度ヲ置キマシテサウシテ、警視廳ノ基礎ヲ立テタト本員ハ記憶シテ居リマスガ、此事ハ決シテ本員ハ追ウテ批難シナイ、寧ロ當時得策デアツタラウト思ヒマス、果シテ此目的ノ如ク西南ノ亂ニ當リマシテ、軍隊ノ不足ヲ補フ警視廳ノ拔刀隊ト云フモノハナカク偉大ナル功ヲ奏シテ、川路君ノ盡力ハ空シカラズ、大イニ本員ハ追テ感謝ヲシテ宜イト思ヒマスガ、併シナカラ一度此亂ヲ經マシテ、天下ノ形勢ノ變テ後ハドウデアツタカト云ヒマスルト、最早警視廳ヲ唯今ノ如キ組織ニスルヨリハ、寧ロ當時ノ變化ニ伴フガ宜シイト云フ譯デ、廟堂ニ於テ此ノ議ガ議題ニ上リマシタルトキニ、本員ハ斷言致シマスル、若シ官吏ノ内部ニ付イテ是ノ如キコトヲ記憶セラレ、御方ガ此中ニアツタナラバ、當時ノ閣議ニ於テ警視廳廢止ト云フコトヲ決シタト云フコトヲ此壇カラ明言ヲ致シマス、然ルニ是ヲ廢止シ難イトコロノ情實ガアツタノハ、ドウ云フコトカト云ヒマスルト、西南ノ亂ニ拔刀隊ヲ指揮シテ、大ニ力ヲ國ニ盡シテ亂ヲ鎮メタルトコロノ警視、其他ノ人ミヲ斷ツタラ直ニ職ヲ奪フト云フコトデ、軍人ニ向テ賞ヲ與ヘスト云フヤウナコト、同シヤウナ待遇スルノハ、甚ダ組織シタコトデアルカラ、暫ク此人ノタメニ圓滑ナル成行ヲ取ルノガ宜シカラウト云フノデ、此形勢ニ應ジテ唯今ノ元帥ノ大山侯爵ガ警視總監ニナラレタト私ハ記憶シテ居リマス、當時ノ廟議ノ證據トシテ本員ノ舉ゲマスノハ、是ガタメニ憲兵ト云フモノヲ置キマシテ、サウシテ此過去ノ戰ノ功ノアツタトコロノ警察官ヲ憲兵ニ移シタナラバ、兩々相俟テ一ツハ世ノ變化ニ應ズルトコロノ形式ノ制度ヲ執ルコトガ出來、一ツハ此亂ニ功ノアツタルトコロノ人ノ職ヲ奪ハシメズシテ、サウシテ兩方宜シキヲ得ルデアラト云フノデ、是ガタメニ憲兵ヲ置カレタノデゴザイマス、併シナカラ是ノ如キ改革ガ實行セラレタト云フノハ何ンデアルカト申シマスレバ、當時民權論ガ勃興シテ、是ヲ鎮壓スルタメニハ再ヒ警視廳ノ權力ヲ大ニセザルヲ得ヌト云フノガ、明治十四五年ノ廟議ノ結果デ是ヲ今日迄持續シタノデアツテ、所謂舊時代ノ遺物ヲ今日迄存シテ居リマスノハ、明治十年ニ消滅シマシタトコロノ開拓使ニアラズシテ、明治二十九年ニ殘テ居リマス警視廳其物ナリト云フコトヲ本員ハ斷言致サウト思フ(拍手起ル)此精神ガ殘テ居リマスカラ、事ガアツタル時ニ人

民ヲ敵トシテ斬ルノデ、實ハ世ノ中ニ後レタル前世界ノ動物ガ今日ニ存シテ居ルト思フ(拍手起ル)此コトヲ知ラレタナラバ、原君ガ唯今自由ノ主義ヲ奉ズル、立憲ノ主義ヲ奉ズルト云フ、此西園寺内閣ノ内務大臣トナツテ、麗々シクモ此制度ガ必要デアル、根底ノ精神ガ是ノ如ク專制時代ニ生レ、封建ノ破レタル當時ニ後レタルモノゾ、是ヲ直シテ善イモノニシヤウト云フノガ、抑、姑息デ、決シテ斯ノ如キ精神ヲ以テ諸官省ノ改革ヲ企テラレタトコロガ實ハ無力デ、甚ダ氣ノ毒デアアルガ目的ヲ達セザル仕事デアラウト本員ハ思フ、本員ハ此精神ヲ以テ今ヤ新ニ是ニ權力ヲ加ヘルトコロノ此費用ヲ可決スルコトヲ拒ムノデアリマス、且又新タニ新築致シマスルトコロノ費用ヲ出シマシタノハ、本員ハ出サレタル手續ニ付イテ大ニ疑フ懷イテ居リマス、本員ガ府下ニ住ヒマシテ——市内ニ住ヒマシテ見ルトコロニ依リマスルト云フト、鐵道ノ中央停車場ガ彼ノトコロニ建テラル、タメニ、彼ノ地面ヲ明テ渡サナケレバナラヌト云フコトガ理由書ニ出テ居リマスルガ、鐵道ノ經營ハ決シテ此一年内ニ彼處迄持テ來ル程進シテ居ラヌト見テ居ルノニ、此年度ニ何ガ故ニ是ガ必要デアルカ、決シテ事務ノ進行ニ付イテ必要ガナイノデアアル、此理由書ニハ中央停車場ノ地所ヲ求ムルタメニ、警視廳ヲ引拂ハシメナケレバナラヌ、ツレ故ニ他ニ引移シテ新築スルト書イテアリマスガ、決シテ此年度内ニ左様ニ工事ガ進行シテ居ラヌ、若シ此必要ガアルト云フナラバ、本員ハ此議事堂コソ屬、大ナル修繕費ヲ掛ケテ、サウシテ不經濟ノ補足ヲシテ居リマスガ、是等ハ新築スル方ニ運バレイノデ、立憲内閣——西

園寺内閣が諸外國ニ向テ、日本ノ體裁ヲ示スト云フコトデアッタナラバ、此議事堂ノ建築ナドハ實ニ願ヒタイト思フテ居リマス、併シナガラハ本員ガ國費多端ノ時ニ、此議事堂ノ新ニ大ナル費用ヲ要求スル場合デアアルマイト思フテ居ル、是ト同ノ精神ヲ以テ未ダ鐵道ノ工事ノ進歩シナイトコロニ、警視廳ヲ此年度ニ麗々シク——國民ノ氣焰ガ警視廳ニ大ニ逆ラツテ居ルノニ、内閣ノ議案ヲ踏襲シテ新タニ此問題ノ争ヒヲ開カル、ト云フハ、智慧ニ於テ甚ダ無智ノ遺方デアアルト當局ニ忠告シヤウト思フ、尙又本員ガ申シテ見マスト、此コトニ付イテ前内閣ガ是ヲ出サレタノハドウ云フ精神デアアル、警視廳廢止ノ議論ガ盛ニ東京市内ニ起ツタ、盛ニ市參事會ヲ議セラレタ、市會ヲ議セラレタノデアアルカラ、此氣焰ヲ殺カンガタメニ内閣ハ是ノ如キ確然タル決心ヲ持ツテ居ルト云フ示威運動ノタメニ、實ハ舊内閣ガマダ左程ニ追テ居ラヌトコロノ建築費ヲ議案ニ加ヘタト見テ居リマスカラ、此精神ハ既ニ國民ノ意ヲ體スル、此現内閣ト相容レザル所、矢張舊世界ノ動物ガ今ノ世界ニ存シテ居ルト同ジヤウナ意味合デ、出サレテ居ルトコロノ鎮壓式ノ議案デアルト本員ハ見テ居リマスカラ、是ハ是非共國民ノ意志ヲ達スルタメニ、必要デアツテモ、此議會デアハ削除スルガ當然デアラウト思フ、政友會諸君モ内閣ノタメニ好意ヲ持ツテ居ルナラバ、内閣ヲシテ前内閣ノ遺物、國民ノ意思ニ大ニ逆ラツテ居ルトコロノ鎮壓式ノ建築費ハ、是認セラレヌコトヲ本員ハ望ムデアリマスカラ、此意味ヲ以テ本員ハ角田君ノ提案ニ賛成致シマス

○議長(杉田定一君) 早速整爾君

○早速整爾君 杉田島田君ニ讓リマシタカラ發言ハ致シマセ

○議長(杉田定一君) 守屋此助君

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君 諸君唯今此議題ニ相成テ居リマス、警視廳ノ全廢問題ニ付キマシテ、聊カ愚見ヲ述ベテ清聴ヲ煩ハシマスレゴザイマス、吾輩ハ今日ノ日本ノ官制ノ上ニ於テ、警視廳ト云フモノガ殘テ居ルト云フコトハ、此警視廳ト云フモノハ、立憲政治ノ敵デアアル、文明ノ敵デアアル、文明ニ忠義ナル人、立憲政治ニ忠義ナル人ハ、是ハ何トシテモ警視廳ヲ廢止スルト云フ事柄ハ望マナケレバナラヌト斯様ニ考ヘテ居リマス、其事柄ヲ一一申上ゲテ諸君ノ清聴ヲ煩ハシ、且御贊成ヲ得ヤウト考ヘマス、ナセ立憲政治ノ敵デアアルカ、ナセ文明ノ敵デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、以下申上ゲルコトデ明カデアルト考ヘマス、立憲政治ニ先ツ必要ナルモノハ何デアルカト云ヘバ、責任政治デアアル、モウ一遍言換ヘルト、警視廳ト云フモノガアルタメニ、東京府下ノ政治ノ責任ト云フモノガ不統一ニナツテ居ル、ナセデアアル、一方ニ東京府知事アリ、片方ニ警視廳總監アリ、官制ノ上ニ於テ警視廳總監ト東京府知事トノ優劣ハ何方ニアル、此處ニ居ラレル原内務大臣——私共ノ多ク敬意ヲ拂フトコロ原君ハ、政治ノ責任ヲ有ツテ統一ニサセナケレバナラヌト云フコトハ、無論能ク御承知デアアル御方デアアル、サウシテ此内務大臣ガ是マデ度タイロノ命令ト云フモノヲ御下シニナツテ居ルノニ——此事柄ハ東京府知事警視廳總監ノ認可ヲ受クベシト云フ事柄ハ、東京府下ノ諸般ノ仕事ニ於テ數多ノ命令ガ下ラテ居リマス、數多ノ命令ガ東京府下ニアル、東京府下ニ二百萬ノ人口ガアツテ、是ニ數十ノ會社モアリ、又個人ノ仕事ヲシテ居ルニ付イテ、先ヅ日々ニ幾ツ命令ガ出

ルカモ知ラヌ、内務省ガ既ニ麗々シク東京府知事警視廳總監ノ認可ヲ經ベシト斯ウアルノデアアルカラ、サアソコデドウナル此事柄ハ——斯ウ云フ事柄ニ付イテ認可不認可ノ權ヲ持ツテ居ル人ガ二人アル、認可シナイカ、シテ惡ルカト云フノハ責任ガ何方ニアル、シナイカラト云フデモ——已レガシテ宜イト思フケレドモガ、東京府知事ニ言ハセレバ、已レハシテ宜イト思フガ警視廳ガ同意セヌ、又警視廳ニ往ケバ東京府ガ承知セヌカラ已レハシテ宜イガ——斯ウ云フ事柄ヲ一ツ云フテ、先ツ仕事ガ進マナイ、仕事ガ進マナイ、進マヌノモ宜イガ、進シテ出來タ事柄ガ今ノ通ニ責任ノ所在ガナイ、東京府知事ニアルカ、警視廳總監ニアルカ、責任ノナスリッコ、御互ニナスリッコニナツテシマフ、ソレカラモウ一ツハ權力爭ヒ、是ガ又政治ニ非常ノ防害、是ガ非常ニ惡イコト、東京府知事ハ警視廳總監ヨリエラカリタガノデアアル、少シ能ク言ヘマセヌ——少シ能ク云ヘマセヌ所ガムツカシイ、ソレカラ警視廳總監モ亦然リ、所ガ總監ヤ實ハ知事ニナラセラル、様ナ紳士ハ、左様ナ賤劣陋劣ナル餘リ御心ハナカラウガ、是カラ下スツト末ノ方ニ往ク程、役人ハ警視廳ト東京府ノ御役人ノ内輪ニ權力爭ガアル、此事柄ハ府廳へ先キニ持ツテ往ツテ認可ヲ受ケルト、警視廳ハ知事ニ先キニ交渉シタカラト云ツテ、人ヲ馬鹿ニシタト云ヒ、打遣ツテ置ク、警視廳ニ先キニ持ツテ往クト知事ガ警視廳ノ方ヘ公文ヲ移セバ、已レハアレドモ無キモノニシテ居ルカラ、アノ會社ノ事業ヲ少シ進マセヌト云フヤウナ心ガ起ル、是ハ人間デアアルカラ警視廳ノ役人デモ、東京府ノ役人デモ、自分ノ權力ノ大ナルコトヲ希望セラレ、ノハサラ——無理デハナイト思フ、是ハ人ノ罪デハナイ、制度ノ罪デアアル、ソコデ斯ウ云フ事柄ガ現狀デアアル、サウシテデスナ、此日本ノ國ハ今日唯今大戦ヲセシ其後ハドウ云フコトニナルカ、日本ノ諸般ノ國ノ組織ヲ民間ノコトデアラウガ、政府ノコトデアラウガ、是ハ何トシテモ繁文縟禮ノコトヲ去ツテ、政務ヲ簡易敏捷ニスル、ツマリ事務ヲ敏捷ニスシテ政費ヲ節減スル、此事柄ハ殊ニヤラナケレバナラヌデアアル、政治ノコトバカリデハナイ、諸般ノ事柄ヲ左様ニシナケレバナラヌ、此文明ノ國ノ中ニ列スル此日本ガ、世界ト競争シテ往カウト云フノニハ、此様デハ何ガ出來マセウ、一億内外ノ借金ノ利子モ拂ハナケレバナラヌト云フ國ハ餘程心ヲ換ヘテ諸般ノコトヲ思切ツテ改良ヲシテ往カナケレバナラヌデアアル、サウシテ見レバ、此政治ノ上ニ付イテ此事ノ如キハ、第一著ニ我輩共ハヤルベキモノデアルト思フ、サウスルト事務ハ敏捷ニナリ、事柄ハ一ツニナルト、前ニ申上ゲタ通、權力ノ争ト云フモノハサラリト拔ケテシマフ、ソレカラ責任ガ一ツニ歸スル、ソレカラ又政務政費ト云フモノハ、ドウカト云フト、十萬内外減ルト云フコトデアアル、國費ノ方カラ云ヘバ、肥塚君ガ問ハレタ如ク、喜ンデ東京府民ハ負擔ヲスル、喜ンデシヤウト云ツテ迎ヘテ居ル人間ガアレバ、國會議員タルモノハ、其喜ンデ迎ヘル人ニ此費用ヲ出サセル、斯ウ云フ仕事ヲスル、謀茲ニ出デズ、謀茲ニ出デズシテ、今ノ儘ニシテ置クト云フト、ドウ云フコトニナルカト云フト、先ツ警視廳ノ下ト云フモノハ、日本文明ヲ率先シテ住ク場所デアアル、此警視廳ノ下ニ諸般ノ文明ノ事業ヲ起シテ、全國ノ模範トシナケレバナラヌ、其場所苟モ文明ノ事業ト云フモノハ、新規ナ事業デアアル、ソレ故ニ概シテ行政官廳ニ是ヤノ仕事ノコトハ認可スル、文明ノ仕事ノ諸般ノコト見馴レヌデアアルカラ、取締ヲシナケレバナラヌト云フ必要ガアル、其事柄ハ其點ニ於テ今申上ゲタ通デアアル、責任ノアルトコロガ無イカラ、警視廳ト東京府トナスリ合ラシテ居ル、タメニ仕事ガ一年二年三年四年五

年ト停滯シテ進マザル仕事ガ澤山アル、此事柄ハ一ツノ人ガスルコトニナルトサラ、
 早ク仕事ガ往ク、サラ、ト早ク仕事ガ出来ルト云フコトガ、文明ノ仕事ヲ進メル、國
 運ヲ發達セシメルノアル、國力發展何ト云フ發達論ガアルノデアリマスガ、此發展
 ト云フ事柄ハ、是ノ如キコトヲ速ニサシムル制度ニシテ置クト云フコトガ、私ハ宜イト
 思フ、我輩ハ角田君ノ如ク緻密ナ精密ヲ調ヘハ致シテ居リマセヌガ、唯今原内務大
 臣私ノ尊敬スルトコロノ原内務大臣ノ警視廳存在論ニハ、今少シ根據アル御議論カト
 思ヒマシタガ、私ノ警視廳ヲ廢シヤウト思フノハ、以上ノ理由デアルガ、是等ノ點ニ向テ
 ノ御論ガ一モ無カッタノデアリマスカラ、私ハ咄嗟ノコトデゴザイマスガ、斯様ナ理由ニ於
 テ、此警視廳ト云フモノヲ廢止シテ、此仕事ヲ東京府ニ付ケル、ソレカラ高等警察
 ノ一部分ノ仕事ハ、矢張警保局ノ一部ノ仕事トシテヤルヤウニシテ、何ノ差支モ無イ、
 何ノ害モ無イ、利益ハ枚擧ニ違アラス、是ヲ置カケレバナラヌト云フ必要ガ何處ニアル
 内務大臣ノ根據トセラレタ理由ハタツタ一ツ、何デアルカト云フト、佛蘭西ニ例ガアル、
 世界中ヲ調ヘテ佛蘭西ニ一ツシカ御友達ガ居ラヌ、惡キ例カ善キ例カト云フト、是ハ
 惡イ例ト見ヘル、今日唯今此二十世紀ノ文明ノ國ニタツタ一ツシカナイ惡イ例ヲ調ベレ
 バ、亂臣賊子モ歐羅巴ノ國ニ多クアルノデアアル、餘所ニ例ガアルト云フコトダケガ根據
 ニナルト云フト、歐羅巴ノ國ニ亂臣賊子モ多クアルデアリマスカラ、其例ヲ以テモ餘所ノ
 國ニ例ガアルト云フダケノコトハ少シモ根據トハナラヌノデアアル、以上ノ理由ニ於キマシ
 テ、我輩ハ此警視廳ノ經費ノ削減論ト云フコトハ、角田君ニ贊成スル一人デゴザイマ
 ス

○議長(杉田定一君) 荒川五郎君

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 警視廳ノ廢止問題ハ、請願委員會ニ花ヲ咲カセタ問題デゴザイマ
 ス、是迄請願ノ委員會ハ無味淡泊ナモノデアツタガ、其請願委員會ニ一ツノ討論ノ材
 料ヲ與ヘテ、請願委員ノ諸君ヲシテ、其委員會ノ席上ニアレダケケテ討論ヲサセタト云フ
 ノハ、此問題ノ效用デアアル、併シ此廢警問題ハ、請願委員會ニ一ツノ材料ヲ與ヘテ、其
 委員會ノ諸君ニ討論ノ材料ヲ與ヘタ位ノ效力ヨリ外ニハナイモノト本員ハ信ジテ居
 ノデアアル、然ルニ圖ラザリキ、今豫算ノ問題ニ於テ堂々ト殊ニ島田君ナドガ、此警視廳ノ
 歴史迄モ説イテ、ソレガ内務大臣ガ物ヲ知ラヌトカ、知ッテ居ルトカ、何カ大變ナ御議論
 ガ出ルカト思ヘバ、警視廳ハ斯ウ云フモノト云フテ、唯單簡ニ其警視廳ノ沿革ヲ説イ
 テ、サウシテソレダケテ此問題ヲ葬リ去ラウトセラル、ノハ、島田君ニモ似合ハヌ甚ダ不
 理ノ議論ト云ハナケレバナラヌノデアアル、又角田君ガ此當時ノ慘憺タル事實ヲ述ベテ、サ
 ウシテ滿堂ノ感情ニ訴ヘラレタハ、吾モモ謹聽ノ義務ヲ守ッタモノデゴザイマシテ、當時ヲ
 思ヘバ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアアル、併ナガラ其當時ノ悲惨ナル事實ガ、此臨時費ヲ削ズ
 ルト云フ理由ニハ更ニナラナイノデアアル、唯是カラ其局ニ當ル人々、又天下ノ政治ヲ執ル
 人ガ、斯様ナル亂暴ナ、斯様ナ實ニ今日ノ明治聖世ノ下ニアラレ得ラレナイ事實ヲ生ジタ
 ト云フコトハ、共ニ遺憾トシテ將來ヲ戒シムル一ノ島田君ノ希望トスレバ、吾モハ實ニ此
 演説セラレタダケノ效能モナイデハナイト考ヘマスルガ、其一ノ事實ヲ感情ニ訴ヘテ、サウ
 レテ此臨時費ヲ削ル——臨時費ヲ削ルト云フ趣意ハ、何カト云ヘバ、警視廳ヲ廢スルト

云フコトデアアル、島田君ハ先キニ新井君ノ演説ニ對シテ、豫算ヲ知ラナイカト言ハレタガ、
 是ハ角田君ガ失禮ナガラ豫算ヲ御承知ナイノデアアル(「ヒヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)警視廳
 ニ新築ヲシナイデモ、警視ノ事務ハ執ラレルノデアアル、此問題ハ(「新築ヲスルヲ要シマセ
 ヌ」)又(「先例ヲ御覽ナサレバ分ル」)ト呼フ者アリ)サア、ソレチヤカラセナイ其誠サレナイモ
 ノヲ何故ニ此問題——此警視廳ノ新築ヲ廢シテ警視ガ廢サレマセウカ、是ハ多辯ヲ要
 セズシテ分ッテ居ルコトデアアル、(「ヒヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)若シ昨年彼ハアンナ亂暴ナコト
 ヲシター——惡ルイコトヲシタ、ソレチヤカラ懲罰的ニ新築ヲセズニ狹イ惡ルイ粗惡ナ所ニ
 入レテ置イテヤラウト云フコトナラバ、是モ懲罰的ノ論理ガ立チマスルガ、廢警ノ理由ヲ
 以テ警視廳ノ新築ハ廢スルト云フノハ、是モ島田君ノ議論ト同様、甚ダ不無理ナ全廢
 ナ議論ト言ハナケレバナラヌ(「ヒヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)次ニ此屋——守屋君(笑聲起
 ル)此屋君——守屋君(笑聲起ル)守屋君ハ警視廳ト東京府ト事務ガ錯綜シテ居ル、其
 間ニ權力ヲ爭フ、斯ウ云フノ理由トシテ、又警視廳ヲ廢スル議論ヲ述ベラレタ、是モ本
 末ヲ顛倒シタル議論デアアル、ナゼカナレバ事務ノ遣方ガ惡ルイトカ、權力ヲ爭フトカ云フ
 コトハ、是ハ一ノ行政整理ノ問題、或ハ官制上ノ問題、政治ノ問題ニ移ルベキモノデ、事
 務ガ錯綜シテ居ルカラ、警視廳ヲ廢スルト云フ理由ニハナラヌ、若シ其間ニ權力ヲ爭フモ
 ノガアレバ爭ハナイヤウナ組織ニスルガ宜シイ、事務ガ溢滞ヲ致セバ、溢滞ヲシナイヤウナ方
 法ニシタラ宜シイ、決シテ此事務ノ溢滞、權力ノ爭ヒガ警視廳廢止ノ問題トハ相成ラ
 スノデアゴザイマス(「ヒヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)又「的」ヲ外レテ居ル「ト呼フ者アリ」諸君ハ此餘所ノ地方官
 ガ警視ノ事務ヲ持ッテ居ルカラ東京デモ宜カラウトカ何トカ云ヘバ、日本ヲ斯ウ平均シ
 ヤウナ議論ト思ヘラマスルガ、是ハ甚ダ此政治ノ要旨ヲ御承知ナイモノト失禮ナガラ言ハナ
 ケレバナラヌ、(「ヒヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)何トナレバ地方デモ同シ警察ノ事務ヲ執ルノデ
 モ、警部ガ署長ヲ執ッテスル所モアリ、或ハ委任官——警視ヲ置イテアル所モアル、斯ウ云フ
 ヤウナコトハ、其事務ノ大小繁閑其性質ノ宜シキニ應ジテ敷スコトデ、必ズ地方ニ地方
 官ガ警察權ヲ持ッテ居ルカラ、ソレ東京デモサウシナケレバナラヌト云フ理由ニナラヌ、
 ミナラス東京ト云フ特別事情ニ想ヒ到レバ、此警視廳ヲ置クト云フコトハ今日マデニ澤
 山出效能モ其中ニハアルノデアアル、唯ニ或ル時ニ或ル者ガ亂暴ヲシタト云フテ、ソレヲ廢スル
 ト云ヘバ、若シ露西亞ノ國ノ海軍ノ者ガ惡ルイコトヲシター——水兵ガ亂暴シタ、陸軍
 ガ亂暴ヲシタト云ヘバ、其陸軍ヲ廢スルト云ヒマスカ、海軍ヲ廢スルト云ヒマスカ、(「ヒ
 ヤ、ヒヤ」ト呼フ者アリ)或ハ刀ヲ以テ人ヲ斬ッタナラ、刀ヲ廢スルト云フカ、一ツ惡ルイコト
 ガアルカラ、ソレデラ廢シヤウ、惡ルイカライケナイト云フコトハ、マルデ議論ニナラナイノ
 デアル、若シ警視廳ガ是ガ惡ルイ何處ガ惡ルイト云ヒ、警視廳ト云フモノヲ置ク根本的
 ノ議論ニ於テ若シ此處ガ惡ルイカラ之ヲカネバナラヌト云フト、其政治上ノ根本ニ於テ
 警視廳ハ有害無効デアルト云フ御議論ガ出レバ、吾モハ謹シテ拜聽シマスケレドモ、遺
 憾ナガラ今マデ三君ノ議論ト云フモノハ、唯枝葉ニ互ジテ一部ノ弊害ヲ取ツテ、サウシテ
 以テ此根本ヲ逆捻ラシヤウト云フ議論デ、甚ダ是ハ私ガ不無理ト云フ所以デゴザイマ
 ス、敢テ此問題ニ多辯ヲ要スルコトデハゴザイマセヌ、殊ニ島田君ハ豫算ヲ知ッテ居ルカト
 云フ、成程御承知ノヤウデアアル、(笑聲起ル)既定ノ歳出ヲ減サレヌト云ヘバ御承知ノ
 ヤウデアアルカラ、此上ニ私ハ議論ヲ要セヌ、唯ククトスレバラダケケノ考ガナレバナラヌノデ

ゴザイマス、チヨット根本ノ議論ガナイカラ、根本ノ理由マデニ往ク必要ガナイト考ヘマスカラ、此邊ヲ措キマス

〔笑聲起ル〕討論終結ト呼フ者アリ

〔内務大臣原敬君登壇〕

○内務大臣(原敬君) 此問題ハ御覽ノ通警視廳ノ建築費ノ問題デアリマス、警視廳ノ存廢論ハ此場合ニ於テドウ云フ譯テ生ジタカ了解ニ苦ミマスケレドモ、如何ナル理由ヲ以テ生ジテモ、是ハ明カニ致シテ置ク方ガ宜シト考ヘマスカラ、私ハ先刻答辯ヲ致シタ、殊ニ角田君ト云ヒ、島田君ト云ヒ、守屋君ト云ヒ、吾々ノ尊敬スベキ(笑聲起ル)諸君ガ、堂々ト御議論ニ相ナリ今一步進メバ、是ハ進歩黨諸君宿昔ノ御議論デアリマスルカラ、私ハ謹テ御答ヲ致シタト考ヘルノデアアル、(「謹聽」又「左様アリタイ」ト呼フ者アリ)全體警視廳ノ沿革ガドウデアアル、是ハ私ハ意外ニ感ズル、如何ナル沿革ヲ以テ生ジタル官廳ニシテモ、其處置宜シキヲ得タナラバ、沿革ニ溯ッテ存廢ヲ議スベキモ、アナカラウト考ヘル、(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)是ハ島田君ニ向ッテ御答ヘヨ致シマス(島田三郎君「宜シキヲ得ナイ」ト呼フ)又守屋君ノ御演說中ニ佛蘭西ノ例ヲ唯一ノ理由トシテ申シタカノ如キ御演說ガアリマシタガ、請願委員會左様ナルコトガアリマシテ、私ハ一應ノ答辯ヲ試ミマシタガ、此議場ニ於テ佛蘭西ノ例ガアル故ニ、存シナケレバナラヌト云フコトハ申シタコトハナイ、是ハ速記録ヲ御覽ニナレバ明瞭デアアル、而シテ此警視廳ヲ廢シテ、他ノ府縣同様ニ東京府ニ合スルト云フ御議論ガアリマスルガ、其理由ハ甚ダ吾々ハ了解ニ苦シム、察スルニ是ハ請願書ニ現ハレマシタ、今マデノ遣方ガ權力ヲ亂用シテ居ル、統一ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ事ガ根據ニナッテ居ル、(時勢ノ進運ニ伴ハザル事)ト呼フ者アリ)宜シイ、時勢ノ進運ニ伴ハザル方カラ、先キニ御答ヘ致シマセウ、時勢ノ進運ニ伴ハナイト仰シヤルケレドモ、隨分進歩シタル國ニ存スル以上ハ、時勢ガ進歩スルノガ警視廳ヲ止メサセル理由ニハナラヌ、權力濫用ノ御話ガアルガ、是ハ既往ノ事デアリマス、ソレハ相當ノ責任ヲ持ツ人ガ執ッテ宜シイ、既往ニ於テ一時權力ヲ亂用シタカラ將來モ亂用スルデアラウト云フ推測デアレバ、御同意ハ出來ナイ、事務ノ統一ヲ缺クト云フコトハ、先刻來申シマシタ、著々改良進歩ヲ計ルニ付イテ亂用モナクナリマセウ、不統一モ防グコトガ出來マセウ、諸君ノ御疑念ガアレバ私ハ責任ヲ以テ答辯ヲ致ス、既往ガ是ノ如クデアッタカラ、恐ラク將來モサウデアラウト云フ推測論ニハ、御同意ガ出來ナイ、故ニ此新築費ハ無論御協賛アルベキ答ト思フ、存廢論ハ既ニ根據ナシト見ル、(改良ノ腹案ハドウデアアル)「シヤベルナ」ト呼フ者アリ)諸君ガ御妨ニナレバ私ハ演說ヲ止メル、御聞キナサレバ陳述シマス、私ハ諸君ト共ニ此利害ヲ十分ニ研究シタト考ヘマス、諸君ガ妨害ナサルナラ何ヲ苦ンデ演壇ニ登ル必要ハナイ、故ニ私ハ此警視廳ハ此儘存在シテ置イテ是ニ向ッテ十分ナル改良ヲ加ヘマシタナラバ、諸君ノ希望セラル、目的ヲ達スルコトハ疑ハナイト信ズルノデアアル、既往ノコトニ溯ッテ彼是論シテ懲罰的ニ是ヲ廢スルナド、云フコトガ、吾々ガ御同意出來ナイノデ、殊ニ此建築費ニ關シテ、存廢論ニ論及シテ居ルノデアアルガ、此直接問題タル建築費ハ、必要ガナイデヤナイカト仰セラ、ケレドモ、既ニ中央停車場建築ノ費用ハ、諸君ガ御

協賛ニナッテ居ル豫算委員會ニ於テ——而シテ此工程ニ應ジテ、警視廳ヲ移サナケレバナラヌ必要ニ迫ッテ居ルノニ、是ヲ願ミズシテ此建築費ヲ削除ナサルト云フコトハ甚ダ無理由ヲ得ナイ、殊ニ警視廳ノ費用ヲ廢セズシテ、建築費ヲ削減ナサルト云フコトハ、ドナタカ御議論ニ相成リマシタコトハ、ソレハ既定ノ歳出デアアルカライケナイト仰シヤルガ、既定ノ歳出ト雖モ法律ノ命ズルトコロニ依ッテ政府ノ同意ヲ得レバ廢スルコトガ出來ル、何故ニ諸君ガ吾々ニ向ッテ政府ノ同意スルヤ否ヤヲ御尋ネナラヌデアアル、然ルニ此建築費ノミヲ削除スルト云フ御議論ハ、諸君ニモ似合ハヌ御議論デアアル、故ニ徹頭徹尾不同意ヲ表シテ、原案ヲ維持スルコトニ努メマス

○議長(杉田定一君) 花井卓藏君

〔花井卓藏君登壇〕

○花井卓藏君 私ハ警視廳ノ存廢ト云フコトニ關シテハ、全體定見ガカッタノデアリマス、或ハ警視廳ノ歴史ヲ論ジ、或ハ警視廳ノ情弊ヲ論ゼラレテ、サウシテ是ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ論ハ、豫テ承ッテ居リマシタケレドモ、併シナガラ此改善方法ハ如何ニシテ可ナルヤト云フコトニ付キマシテハ、實ハ多クノ定見ヲ有シテ居ナカッタノデアリマスルカラシテ、吾々ノ友人中警視廳廢止ノ論ヲ盛ニセラル、人ガゴザイマシテモ、少シク自分ハ同情ヲ表スルニ踴躍シテ居ルノデアリマス、然ル處平生最モ尊敬致シマスル友人ノ中ニ於キマシテモ、殊ニ第一指ニ屈スル私ノ先輩ナリ友人ナリト致シテ居リマスルコトノ政友會ノ磯部四郎君、先ツ同君ガ警視廳廢止ノ論ヲ絶叫シ、而シテ江間俊一君ガ是ニ對シテ盛ナル氣焰ヲ振掛ケ、東京市會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ警視廳ノ廢止ヲ決議シ、大岡青造君ハ是ガ實行ノ責任ヲ帶バル、ト云フコトニ相成ッテ居ルコトヲ記憶致シマス(拍手起ル)茲ニ於キマシテ——茲ニ於キマシテ、實ハ平生信頼スル人ミカ此態度ヲ取ラ、ノデアアルカラ、實ニ人間ノ信用程恐ロシイモノハゴザイマセヌノデ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)「拍手」起ル)私ノ如キ者ノ頭ガ深ク研究ヲ費ヤサイデモ、此三人者ノ言動ニ同ジテ置イタナラバ妨ゲハアルマイ、少クトモ議院ニ於ケル政友會諸君ノ贊成ヲ得ルコトハ間違ヒガナイト云フコトヲ確信ヲ致シマシテ、人ヲ信ズルノ餘リ私ハ此削減案ト云フモノガ必ズ行ハル、コトデアッタラウト確信ヲ致シテ居リマシタ、尤モ此場合ニ於テ、角田君島田君若クハ守屋君ガ議論ヲナサル相當ノ時機デアアルヤ否ト云フヤウナコトハ、私ハ元ヨリ疑ッテ居リマシタ、併ナガラドウセ此科目ト云フモノハ結局ナクナルノデアリマスカラシテ、其豫言ガ付イテ居ルノデアリマスルカラシテ、左様ナコトノ命ハ今日既ニ定マッテ居ルノデアリマスルカラシテ、後ノ面倒ヲ避ルガタメニ、今日ヨリ片付テ置クト云フ事柄ガ、機宜ニ適シタル始末デアアルマイカ(拍手起ル)即チ或意味ニ於テモ、政府ガ屢々取リタル緊急勅令ノ流儀ヲヤッタナラバ差支アルマイカト私ハ考ヘルノデアアル(拍手起ル)東京ニ於ケル諸君ガ、而モ政友會ノ諸君ガ此叫ビラ上ゲテ、吾々ノ田舎ヨリ東京ニ出テ居リマスル者ガ、ソレヲ信ジテサウシテ問題ハ既ニ定マッテ居ル今日此頃ニ至リマシテ、其方ノ側ノ方カラ待テ——ト云フノハ、餘リドウモ其工合ノ惡イ趣意ニ相成リハシナイカト私ハ考ヘル、(拍手起ル)私ハ政友會俱樂部ノ一員デアリマスルガ、今ノ政友會ノ内閣ニハ、實際同情ヲ表シテ居ル、本當ニ——(笑聲起ル)ソレデ成ルベクハ

要ガナイデヤナイカト仰セラ、ケレドモ、既ニ中央停車場建築ノ費用ハ、諸君ガ御

此原君アタリテ、完全ナ憲政ノ政ヲセラル、方ヘ導イテト言フテハ失禮アルカモ知レマセヌガ、私ハ誠心誠意導イテサウシテ有始有終ノ美ヲ濟サシメタク思フノデアアル、警視廳ヲ廢止スル前提トシテ、此建築費ヲ削減スルト云フ事柄ハ、有始ノ美ヲナサシムル所以デアアル、有終ハ未ダシナリト雖モ、少クトモ有始ノ美ダケハナサシメタイモノデアアル、私ハ甚々此新内閣ノ諸公ノタメニ御氣ノ毒ニ感シマス、實ニ此度ノ新内閣ノ諸公ノ中ニハ、勿論前ノ政府ノ次官アタリノ人デ、大臣ニ經上ラタヤウナ連中モアリマスケレドモ、(笑聲起ル)頭トシテハ概シテ良ク出来テ居ル、頭ハ誠ニ結構ナ内閣デアルケレドモ、手足ト云フモノガ皆藩閥ノ餘黨デアアル、此處等連中ガ皆ナソレナノデ、ソラ率ヒテ頭ダケ立憲デアアデモ、手足ハマルデ非立憲デアアル、是等ヲ何トカ片付ケテ、矢張頭モ立憲手足モ立憲ト云フ風ニシテ往キタイト私ハ信シテ居リマス(拍手起ル)而シテ此警視廳廢止ト云フ事柄ヲ、此豫算ノ問題ニ付イテ討議スルト云フ事柄ハ、或ハ間違ッテ居ルト云フノデ、否決ニナルカモ知レヌト私ハ信シテ居ル、即チ來ルベキ建議案ニ同意ノ表セラル、ト云フコトヲ確言シテ居ル、又是ガ否決ニ相成リマシテモ、立憲大臣タル原君ガ手足ヲ換ヘルト云フ事柄ヲ、茲ニ於テ斷言セラレタト同ジコトデアアル、ドウガ警視廳ヲ警保局アタリニ殘シテ居ル連中ヲ、根本カラ免除シ免職シ免職シテ、サウシテ立派ニ此警察刷新ノ實ヲ擧ゲラル、ト云フコトニ相成マシタナラバ、歴史ハドウデモ情弊ハドウデモ、全ク善イモノナラ善イモノトシテ、人ガ迎ヘルヤウニナルカモ知レナイ、願クハ期限ヲ切ッテハ誠ニ相濟マス譯ゴザイマスガ、此豫算ヲ實行セラル、ヨリ以前ニ於テ、ドウカ此警視廳ナリ警保局ナリノ官吏ヲ改善スルト云フ方針ヲ取ラシテ、政友會多數ノ諸君ノ希望ヲ御容ニナランコトヲ望ムノデゴザイマス、私ハ別ニ此問題ニ關シマシテ、多ク意見ハ有シマセヌケレドモ、此場合ニ於テ先輩ノ磯部君並ニ江間君、大岡君ノ德ヲ頌セント云フ事柄ハ、餘リ不公平デアルト信シマスカラ、二君ノ德ヲ頌スルメニ此壇ニ登ッテデアリマス

○議長(杉田定一君) 立川雲平君

○坂口仁一郎君 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 何ノ質問デスカ、立川君ニ許シマシタ

(立川雲平君登壇)

○立川雲平君 今日ハ豫算ノ案デゴザイマスルカラ、斯ウ云フ大議論ガ起ラウトハ豫期ヲ致サナカッタ、然ルニ角田君ノ御議論ヲ聞キマシテ非常ニ感動ヲ致シマシタ、感動ノ結果ハ違ヒマセウケレドモ(笑聲起ル)昨年九月五日ノ東京ノ騷擾ハ私共地方ニ居リマシテモ、非常ニ御氣ノ毒ニ感シマシタ、如キコトガ、首都ニアラウトハ實ニ思ヒ掛ケナイ、併ナガラ是ガアツタガタメニ、警視廳ヲ廢シテマハウチヤナイカ、是ハ理窟ガ合ヒマセウカ、私共地方デアツテ、萬般ノコトハ東京即チ此首都ノ人々ノナサルコトニ付イテハ、感服ヲレテ居リマス、殊ニ況ヤ政治ノ中心デアリマスカラ、政治家モ澤山居ラレマスカラ、何事ニ依ラズ東京ヲメドニ致シテ居リマスガ、昨年九月巡査ガウマク取締ノ出来ナカッタガタメニ警視廳ヲ廢シテシマホウト此論理デ言フナラバ、荒川君ノ言ハル、通其人ガ善イ仕事ヲシナカッタラバ、其人ノ居ル役所ハイツデモ潰シテシマハナケレバナラヌト云ハナケレバナラヌ、又併シナガラ進歩黨ノ諸君ガマサカニ昨年九月ノコトガアツタカラト云フテ是ヲ廢ス

トハ言フマイ、サウ言フテハ餘リ論理ガ合ハナイカラ、ソレ故ニ巧ミナル巧妙ナル演說ヲシテ、角田君ハ大久保利通公ノ暗殺、ソレカラ森有禮君ノ暗殺、明治二十五年ノ干渉、是等ヲ綜合シテ來テ、彌以テ警視廳ヲ廢サナケレバナラヌト云フハ、一應御尤謹シテ憲政本黨ノ主領株角田君ニ向ッテ承リタイ、曾ア明治三十年大隈伯ガ内閣ニ居ラレタコトガアル、明治三十一年ニモ居ラレタコトガアツタ、何故ニ警視廳ヲ廢サナカッタカ、若シモ大久保利通公ノ危害ヲ防退スルコトガ出来ナイ、森有禮君ノ暗殺ヲ止メルコトガ出来ナイ、明治二十五年ノ干渉モ不都合デアツタト云フナラバ、何故二十年三十二年ニ是ヲ御廢シニナラナカッタカ、是カラ推シテ見テモ(自由黨ガ反對シタカラ)ト云フ者アリ何ト抗辯ヲサレテモ去年九月五日ノコトヲ以テ警視廳ヲ廢スルコトハ出来ナイ(明言スル)又ハ「ダカラ貴様反對スルシメ」ト呼フ者アリ議場騷然ソレナコトハ斷シテナイ——又東京市ニ於テ、東京市ニ警視廳ヲ廢スト云フ御議論ヲ承リマシタ、或ハ贊成スルカハ存ジマセヌガ、此東京ノ首都ノ警察ヲドウナサル御積リデアアルカ、此府下ノ警察ヲ何ニ托スル積リアルカ、此機關ノコトハ一言半句モ述ベズシテ、而シテ警視廳ヲ廢スト云フ——明日唯今ヨリ二百萬ノ人民ハドウスルカ、コノヤウナ議論ヲ以テ、直チニ警視廳ヲ廢サウト云フノハ、恰モ坊主ヲ憎ンデ袈裟ニ及ブト云フ議論ナンデ、昨年九月五日ノ事柄ト云フモノハ、吾々同情ヲ表シマス、故ニ内務大臣ハ是ニ向ッテハ責任ヲ持タシケレドモ、將來是ノ如キコトガアツタナラバ、幾重ニモ改良スルト云フコトハ躊躇セヌト云フコトヲ、一體内閣ニ立タレルトコロノ人ミノ明言ハ吾々ハ飽マデモ是ヲ信シナケレバナラヌ、是ニ向ッテ其言ハ偽リナリト云フノハ士君子ノ言デアナイ、苟モ内務大臣原君ヨリアレ程ニ努メテ辯論ヲシ、改良ヲスルト言ハレタ以上ハ、先ツ是ヲ信シナケレバナラヌ、私ハ他日大隈伯ガ内閣ヲ組織シテ、角田君ヤ鳩山君ガ茲ニ立ッテ、本大臣ガ斯クミミスル、本大臣ガ斯クミミスルト云ハレタトキニハ、私ハ慎シテ先ヅ其言ノ實行セラル、マデハ信ズル積リアリマス、是ヲ信ズルモノハ即チ文明國ノ人デアアル、我國ノ士風ハ類レタリト雖トモ、人ノ言ヲ信ズルコトノ出来ナイマデニ腐敗ハ致シテ居ラヌト思ヒマスカラ御安心アツテ然ルベキコトデアリマス

(討論終結々々々ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ贊成ガアリマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス——第一項角田君ノ說ハ削除説デアリマスカラ、即チ原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ニ同意ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數デアリマス、原案ニ決シマシタ、二項三項ハ原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、内務省所管ノ四款ヨリ八款マテ全
部ヲ議題ト致シマス、原案ニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、大藏省所管第一款ヨリ第八款マテ
ハ修正モアリマセヌシ、反對ノ通告モアリマセヌ、此八款マテハ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、第九款ヲ議題ト致シマス——菊池
武徳君

○江藤新作君 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 菊池武徳君ニ許シマシテ

(菊池武徳君登壇)

○菊池武徳君 此第九款ノ臨時事件豫備費上云フノニ付イテ、私ハ修正ノ意見ヲ
持テ居ルノデアリマス、此臨時事件豫備費ニ付イテハ、委員會ニ於テ既ニ五百万圓削
減スルト云フコトニ政府モ同意セラレタコトヲ承テ居リマス、所ガ此復舊費ノ中カラシテ
五百万圓許ノモノヲ減スルト云フコトハ、誠ニ當然ナコトデアリマスルガ、政府ガ原案ヲ
飽クマデモ維持スルト云フコトノ執拗ナル考ヲ持タズシテ、道理アルトコロニハ耳ヲ傾ケテ、
削減ニモ同意スルト云フコトノ意向アルコトヲ是ニ依テ確メテデアリマス、是ハ本員
ノ最も満足スルトコロデアリマス、所ガ復舊費ノ方ニ於テ五百万圓ノ削減アリマシタガ、
滿韓駐屯兵ノ費用ニ於テ何等ノ御議論モ、餘リ精密ナル御議論ノナカッタト云フノハ、
本員ノ甚ダ不思議ニ思フテ居ルトコロデアリマス、此如何ナル必要ガアツテ、滿韓ニ四個
師團ノ大兵ヲ置ク必要ガアルカ、此事ニ付イテ委員會ノ速記録ヲ見マスケレドモ、確
カニ是ト云フ理由ノ存スルトコロハ吾々ニハ見エヌノデアリマス、豫算委員會ニ於テ、陸軍
大臣ガ大石君ノ質問ニ答ヘテ言ハレタ其中ニ、軍備ノ擴張ハ日露戰爭ノ結果トシテ、我
國ノ勢力ノ及ボス國土ノ幅員ハ從前ニ二倍シ、又人口ニ於テモ我國民ハ殆ド四分ノ一
強ヲ増シテ居ル、是ガ則チ擴張ノ理由デアルト云フコトヲ述ベタノデアル、所ガ是ヨリ外ニ
ハ、吾々ハ四個師團存立ノ理由ヲシキモノヲ豫算委員會ノ筆記録ニ於テ見出サヌノデア
リマス、國土ノ幅員ノ廣クナリ、人口ガ増シタト云フコトハ、少シモ兵隊ヲ置クコトノ理由
トナラヌノデアル、昔ノ戰サト今日ノ戰サトハ違フ、腕力ノ強弱ニ依テ決スルニアラズ、今
日ノ戰ハ兵器ノ精粗、其性質ノ如何ニ依テ決スルノデアルカラ、假令我勢力範圍ガ
擴マラウトモ、人口ガ多クナラウトモ、ソレガタメニ兵多ク置クト云フコトハ、決シテナイ、
若シ其理由ヲ以テシタナラバ、英吉利ハ印度ヲ治ムルニ百万ノ大兵ヲ以テシナケレバナラ
ヌニ、僅カ數萬ノ兵ヲ以テ満足ニ之ヲ統治シテ居ル、サウシテ見ルト朝鮮ニ於テモ、滿
洲ニ於テモ、アレダケノ人口アリ、アレダケノ面積ガアルカラ、ドウシテモ二個師團ヅ、兵ヲ
置カケレバナラヌト云フ理窟ハ一ツモナイ、是ハ世間ニモ自カラ公論アルノミナラズ、滿
韓ノ經營保護ニ任ズル有力ナル政治家ガ——其當局者ニ於テモ、是ノ如キ大兵ニ待タ
ンテモ、統治スルコトガ出來ルト云フコトノ意味ヲ以テ吾々ハ承テ居ルノデアル、サウシテ
見ルト四個師團ヲ置クト云フ眞實ノ理由ハ、ドコニアルカト云フト、政府ハ戰時中ニ編

成シタル四個師團、其四個師團ヲドウカシテ平和克復ノ今日ニ於テモ元ハ戻サズシテ
其儘存置シテ置キタイト云フノガ、蓋シ當局者ノ眞意ノアルトコロデアラウト考ヘル、四
個師團サハ殘シテ居レバ、之ヲ内地ニ置クト滿韓ニ置クトハ必シモ當局者ハ深ク意トス
ルニ足ルトコロデアアルマイト思ヒマス、是ハ恐ク當局者ニ於テモ、此意向ヨリシテ今日
戰時中ニ増設シタル四個師團ヲ此儘置クト云フテハ、世間ニ對シテ甚ダ理由ノナイヤウ
ニ考ヘラレル、議會ノ攻撃モ計ラレヌガ是ヲ滿韓地方ニ配置スルト云フコトデハ、定メシ議
論ハナカラウト云フコトデ、是ノ如キ點ヨリ此案ヲ作タモノデアラウカト吾々ハ考ヘル、ソレ
故ニ若シ豫算委員會ニ於テ四個師團ヲ二個師團ニ減ズル、若クハ其以下ニスルト云フ
御相談ガアツタナラバ、恐ラク當局者モ喜シク之ニ應ジタノデアアルマイト思ヒマス、例
ヘバ復舊費五百万圓ノ削減ニ同意シタト同シ雅量ヲ以テ、必ズソレニ同意シタデア
ラウト私ハ考ヘル、ソレテソレガ若シ滿韓ノ國土人口ノ平生ノ治安ヲ維持スルト云フ目的
ノ外ニ、例ヘバ露國ノ復仇ニ對シテ用心スルト云フヤウノコトナラバ、二個師團ガ三個ア
テモ四個アツテモ事足りハシナイカラ、若シ滿韓ニ事アル場合ニハ、何時ニテモ出兵ノ出
來ルト云フコトニシテ置イテ、サウシテ其半分ヲ内地ニ半分ヲ滿韓地方ニ配置シテ少シ
モ差支ナイト思フノデアリマス、サウシテ今滿韓地方ニ四個師團ヲ置クトカ、其半分
ヲ内地ニ置クト、ドウ云フ結果ニナルカト云フト、即チ是ハ御承知ノ通、費用ガ明カニ五
百万圓内外ノモノガ節減サレル、無造作ニ節減サレル、ソレダカラ私ノ考ハ敢テムツカシ
イ問題デモ何デモナイ、唯、明カニ五百万圓削減ノ餘地ガナイト云フナラバ、國土ノ擴張
ニ眩シ、人口ノ増加ニ目ガ眩シテ、是非共四個師團ヲ置カケレバナラヌト云フコトヲ勿
卒ニ考ヘタモノデアルト云フコトハ、聊カ遺憾ニ思フノデアリマス、タカラ大勢既ニ定マテ居
ル今日、吾々ハ殆ド辯ヲ費スノハ無益ノヤウデアリマスケレドモ、「然リキヤ」ト呼フ者ア
リ併ナガラ苟モ道理ノアルトコロニハ耳ヲ傾ケナケレバナラナイ、唯一瀟千里ノ勢ヲ以テ
之ヲ通過スルハ甚ダ不本意デアル、若シ吾々ヲシテ十分ノコトヲ茲ニ言ハシメルナラバ、四
個師團前後ヲ——新タニ戰時中編成シタル四個師團ヲ平和克復後ノ今日ニ於テ悉ク
止メテシマウ、而シテ從來ノ十二個師團ノ中カラ割イテ滿韓地方ノ駐屯兵ニ充テルト云フ
コトハ、元來ノ問題デアル、其戰爭後ハ無益ノモノデアラウト考ヘルケレドモ、サウ思ハヌ
政府ノ人ハマルデ話ニナラヌ、是非共四個師團ハ何等カノ名義ヲ以テ殘シテ置キタイ、
將來ドウモ増サナケレバナラヌ師團デアルカラ、今日ノ四個師團——一旦編成シタモノ
ハ解キタクナイト云フ趣意デアリマスガ、私ハ大負ニ負ケテ此半分ヲ内地ニ置イテ、而シ
テ五百万圓節減ノ方法ヲ簡便ニ付ケタナラバ、今ノ五百万圓後ノ五百万圓ト合セテ千
萬圓ヲ、此豫備費カラ節減ガ出來ルト考ヘル、是ニモ政府ガ同意シナイト云フナラバ、
同意シナイ政府ガ餘程無理デアル、既ニ大勢定マレリト云フ理由ヲ以テ、諸君ハ一概ニ
之ヲ排斥シナイデ、道理ノアルトコロニ耳ヲ傾ケテ、修正說ノ成立ニ御贊成ヲ願フノデア
リマス

(政府委員石本新六君登壇)

○政府委員(石本新六君) 唯今ノ御質問ニ對シテ、陸軍大臣カラ御答シマス答
デアリマスガ、今日ハ病氣ヲ缺席シテ居リマスカラ、私カラ簡單ニ茲ニ御答ヘ致マス、唯今

ノ御趣意デゴザイマスルト、四個師團ヲ滿韓地方ニ置ク必要ナナイ、二箇置ケバ澤山デア
 アル、ト後ノ二箇ハ内地ヘ持テ來テモ宜カラウ、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ承ハリマシ
 タ、然ルニ先キノコトハ分リマセヌガ、唯今ノ狀況デゴザイマスルト、ドウシテモ四個師團
 フ置ク必要ガ軍備上アルト當局者ハ認メマスルデ、是ノ如ク提出シテゴザイマス、其内
 容ヲ申上ゲマスレバ、イロノナ理由モゴザイマスガ、事ノ秘密ニ屬スル部分モゴザイマス
 ルデ、唯必要ナコトケテ申上ゲテ置キマス、ドウツ御諒察ヲ願ヒマス

○江藤新作君 本員ハ唯今ノ大藏省所管ノ第一款ニ付イテ、當局者ニ質問ヲ致シマ
 スガ、臨時事件豫備費八千四百五十萬圓、此金額ニ付イテハ、先刻委員長ヨリ御報
 告ヲ承リマシタガ、其内容ニハ陸軍復舊費、海軍復舊費、總テ計畫ニ屬スルモノガ含
 デ居ルヤウニ承ハッテ居ル、然ルニ款項ニハ豫備費ト云フ名目ヲ以テ提出シテアリマスルガ、
 委員長ノ報告通、政府當局者ガ説明シタモノトスレバ、何故ニ陸軍海軍其他ノ諸省ニ
 於テ、款項ヲ具ヘテ要求ヲシナカッタノアルカ、若シ是ノ如ク漠然タル名目ノ下ニ於テ、計畫
 ニ屬スルコトヲ豫備費ト云フ如キ名目ノ下ニ要求スルナラバ、議院ノ豫算ニ對スル監督ト
 云フコトハ、餘程要領ヲ得ルコトハ出來ヌヤウニナルト思ヒマスカラ、政府ハ何故ニ是ノ
 如キ漠然タル名義ヲ用井タカト云フコトニ付イテ説明アラントヲ希望シマス

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕
 ○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此豫備費ト云フ名目デ、今年請求致シマシタ
 ノハ、是ハ既ニ昨年及一昨年モ矢張豫備費ト云フ名目デ、要求シテアリマス、其引續
 アリマス、即チ臨時軍事費ノ分ハ、軍事費ノ方デ、追加ヲ求メマシタ、是亦一本ノ款項
 デ請求致シテ居リマス

○江藤新作君 昨年ハ戰時デアリマスカラ事態ガ違ヒマス
 ○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 即チ臨時軍事費ノ追加ト同シヤウナコトニ、未
 ダ正確ナル豫算ニ組入ル、コトヲ利益トシナイモノ、即チ唯今陸軍省カラ御答ニナリマシ
 タヤウニ、四個師團ヲ永久ニ滿韓ニ置クト云フコトニナリマスレハ、其計畫ヲ具シテ請求
 致シマスノデゴザイマス、今年ハ則チソレ等ノ費用ト云フモノハ、先ヅ三十九年度ノ形勢
 ニ依ッテスルト云フヤウナコトニナッテ居ル、斯フ云フヤウナ事ガアリマシテ、即チ豫備費ト
 シテ請求ハ致シテ居リマスケレドモ、是ハ支出ノ際ニハ更ニ精査ヲシテ節約ヲ務メル性質
 ニナッテ居リマス、即チ戰時ノ引續ト致シマシテ、今年ハ豫備費ト云フ形式ヲ取リマシタ
 次第デゴザイマス

○江藤新作君 モウ一ツ御尋致シマス、先刻委員長ノ報告ノ中ニ五百萬圓ノ節約ガ
 アツタト云フコトデアリマシタガ、其五百萬圓ノ金額ハ何ニ御使ヒニナルデアリマスカ、説
 明ヲ求メマス

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕
 ○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 江藤君ノ唯今ノ御尋ハ、何カラ減シタカト云
 フノデスカ

○江藤新作君 五百萬圓ノ節約ニ付イテハ、其節約シタル金ハ實業上ノ發展ニ伴フ
 事ニ使フトカ、何ト云フ御説明ガ、委員會ニ於テアツタト云フコトヲ承リマシタガ、果シ

テ其通アレバ、ドウ云フ事ニ御使ヒニナルカ承リタイ
 ○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 分リマシタ、是ハ削除ニナル時分ニ委員會ニ
 於テ五百萬圓ヲ豫備費ノトコロデ削除スルケレドモ、生産ノ事業ノタメニ更ニ政府ガ案
 フ具シテ使フト云フヤウナ追加豫算ヲ提出シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ發議ガアリマシタ、ソ
 レニ對シマシテ、政府ニ於テハ十分ニ調査シ、更ニ追加ノ案ヲ具シテ出ス、斯ウ云フコトヲ
 御答ヲ致シテ置キマシタノデ、其追加豫算ト云フモノハ、未ダ閣議ニ於テ決定ハ致シテ
 居リマセヌ

○望月長夫君 私ガ或ハ大臣ノ唯今ノ御説明ヲ聞洩ラシタカモ分リマセヌガ、此第九
 款ノ豫備費ト云フモノガ、此多額ノ金額ガ、唯一本ノ豫算ニ出テ居ル年ハ、來年度ノミ
 ハ餘義ナイコト、致シマシテモ、決算ノ場合ニ於テハ其支出ノ各自ニ付イテ、議會ニ於テ
 之ヲ審査スルコトノ出來ル法式ヲ提出ニナリマシタモノデゴザイマセウカ、參考書ノ方ヲ見
 マシテモ、唯一本ノ儘ニナッテ居テ、殆ド唯今豫算トシテ審査スルコトガ出來ナイノミナラ
 ス、更ニ決算ノ場合ニナリマシテモ、若シ此儘デアレバ、殆ド議會ノ審査スル方法ガナイ
 ヤウニナルト思ヒマスガ、是ハ此儘一本テ提出ニナル御考デアリマセウカ、少シソコヲ確メ
 テ置キタイ

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕
 ○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 決算ニ於キマシテハ、明細ニ區分シテ提出致シ
 マス款項ニ分チマシテ……
 ○議長(杉田定一君) チョット御尋シマスガ、菊池武徳君ノ第九款ニ付イテ修正ニ
 ハ、定規ノ贊成ガアリマスカ

〔アルノ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 贊成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマス
 起立者 少數
 ○議長(杉田定一君) 定規ノ贊成ハアリマセヌ——豫算委員ノ修正ニ付イテ決ヲ採
 リマス、即チ第九款第一項、豫算委員ノ修正通御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ガナイモノト認メマス、修正ノ結果大藏省ノ合計ニ異
 動ガゴザイマス、是固ヨリ御異議ガナイモノト認メマス
 〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 陸軍省所管ヨリ農商務省所管ノ全部マテ修正モナシ、又反
 對ノ通告モゴザイマセヌ、之ヲ一括シテ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス——逓信省所管ニ移リ、第一款ノ
 第三項ヲ議題ト致シマス

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス——逓信省所管ニ移リ、第一款ノ
 第三項ヲ議題ト致シマス
 ○長谷場純孝君 本員ハ茲ニ於テ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ逓信省所管ノ第

第一款第三項ノ航路擴張費、是ニハ豫算委員長ノ報告ノ通、豫算總會ニ於テ説ガ三派ニ別レテ、一ツモ成立タナカクテゴザイマス、本議場ノ有様ヲ見マスルノニ、便宜上即チ此豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノ、是ハ第三項トハ聯關シテ居リマスカラ、先ヅ此場合ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノト云フ、此案ヲ此場合ニ議セラレシコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○東尾平太郎君 長谷場君ノ發議ハ餘程便宜ゴザイマスカラ、之ニ贊成ヲ致シマス

○長谷場純孝君 尙附ケテ置キマス、其第十二エス

○議長(杉田定一君) 第十二限デアリマスカ

○長谷場純孝君 サウデス

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ緊急動議トシテ御發議ノ通此三項ヲ議スル場合ニ當テ、即チ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件ノ第十二エ此場合議シタイ、斯ウ云フコトノ緊急動議デゴザイマス、是ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス

○大戸復三郎君 議長

○議長(杉田定一君) 大戸復三郎君

○谷澤龍藏君 私ハ逡信大臣ニ質問シタイ

○議長(杉田定一君) 大戸君ニ今許シマシタカラ、大戸君ガ濟ミマシタラ、アナタニ……

〔大戸復三郎君登壇〕

○大戸復三郎君 諸君、本員ハ此豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件ニ付キマシテ、此第十二、濠洲航路補助ノ件ニ關シマシテハ、要シマスルニ三十九年度ノ一箇年度ダケ、之ヲ補助スルコトニ止マシテ、爾後繼續シテ契約スルコトニ付事柄ハ、是ヲ廢棄シタイト云フ反對ノ意見デゴザイマス、テ簡單ニ其理由ヲ述ベマス、世間デハ此濠洲ノ航路問題ニ付キマシテハ、餘程是非ノ議論ガ多イヤウデゴザイマス、或ハ全然之ヲ廢止シヤウト云フガ如キ説モ、世間ニ少カラヌヤウニ承ッテ居リマス、併シ此濠洲ノ航路ノ必要デアルト云フ事柄、又目下ノ場合ニ於キマシテ補助ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ事柄ハ諸君ト共ニ認メテ居ル次第デゴザイマスルカラシテ、今更之ヲ全廢スルコトノ出來ナイト云フコトハ、私ガ茲ニ喋々スルノ必要ガゴザイマセヌ、唯茲ニ問題トナッテ居リマスルノハ、單ニ契約ノ年限ノ問題ニ歸著シテ居リマス、或ハ之ヲ一箇年ニスルカニ一箇年ニスルカ、若クハ三箇年ニスルカ、委員會ニ於キマシテモ、二説ニ分レタ次第デゴザイマシテ、要スルニ原案ノ五箇年ト云フコトニハ、一人モ贊成ガゴザイマセヌ、然ルニ本員ニ於キマシテハ、此濠洲ノ航路ノ補助ニ付キマシテハ勿論必要ト認メマスルガ、先ヅ以テ一箇年ト定メ置クコトガ至當デアラウト信シテ居ルデアリマス、何トナリマスレバ、此航路ハ御承知ノ如ク、是ハ去ル二十九年始メテ命令航路ト相成リマシテ、政府カラ受

取ッテ居リマスストコロノ統計ニ徴シテ見マスルト云フト、爾來著シク貿易ガ増加ヲ致シマシタ、從テ運賃ノ收入モ著シク増シテ居リマス、殊ニ三十七八年ノ日露戰爭中ニ於キマシテハ、已ムナク此航路、即チ郵船會社ノ此航海ト云フモノハ、殆ド中止セラレテ居ル有様デゴザイマシタ、此間ニ於テ如何ニ貿易ガ増額致シマシタカ、收入ガドノ位ゴザイマシタカト云フコトハ、僅ニ外國船ガ航海シテ居ラタ次第デゴザイマシテ、政府當局者ニ於キマシテ、調査シテ居リマセヌ、併シ自分思フニ相當ニ増加シテ居ルコトデアラウト考ヘマス、サウ致シマシテ今日ハ平和克復ニ歸シマシテ、今後ニ於キマシテハ、實業ノ發展ハ著シイモノデアラウト信シテ居リマス、從テ此日濠ノ貿易モ著シク増加スルデアラウト考ヘテ居リマス、果シテサウデゴザイマスルナラバ、唯吾々ニ於キマシテハ、將來其運賃、即チ其收入ガデス、増加スルニ從ッテサウシテ此補助ヲ成ルベク輕減シタイ、語ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、其會社ガ獨立自營ガ出來ル、ソレヲ程度トシテ是ガ補助ヲ與ヘヌイ、成ルベク國庫ハ餘分ノ補助ヲ與ヘテ、一會社ニ不當ノ利益ヲ得サセタクナイト云フコトニシタイト思フデアリマス、然ルニドウデゴザイマセウカ、若シ是ヲ一箇年若クハ三箇年ト云フコトニ致シマスルトデス、御承知ノ如ク一ノ契約デゴザイマスカラ、如何ニ收入ガ増加致シマセウカ、最早一二年三年ト是ヲ極メテ以上ハ、増減伸縮ノ自由ヲ失ヒマス、若シ是ヲ極端ニ申シマスルナラバ、事實上ツウ云フコトハナイカモ知レマセヌガ、一躍シテ今後ニ於テ最早郵船會社ニ於テ、收支相償ッテ損害ガナイト云フコトヲ、若シ見ルコトガアッタラバドウデゴザイマセウ、其場合ニ於テハ、四十七万有餘圓ト云フモノハ、全然其會社ノ利得トナルト云フ結果ニナリマス、果シテサウデゴザイマスルナラバ、元會社ガ獨立自營ノ出來ルマデ補助ヲシテヤルト云フ、本來ノ趣旨ニ私ハ背反シハセヌカト思フデアリマス、是ノ如ク融通ノ爲シ得ラレザル事ヲ極メテ置クト云フコトハ、吾々議員ノ職責トシテ、是ニ贊成スルコトガ出來ナイデアリマス、左様ナコトハ國庫ノタメニ忠實ナル取計デナイト私ハ信ジテ居ルデアリマス、勿論前述ベマシタ如ク、本員等ニ於テハ決シテ補助ヲ吝シテ與ヘヌトカ云フ如キ説ヲ唱フルモノデハゴザイマセヌ、固ヨリ濠洲航路ノ如キハ必要デゴザイマスカラ、會社ガ獨立自營ノ出來ルマデハ、飽マデ補助ヲ與ヘヌイ、故ニ三十九年度中與ヘマシテ、尙ツレデ會社ガ獨立自營ガ出來ナケレバ、尙四十年年度ニ與ヘテ可ナリ、四十年年度ニ獨立自營ガ出來ナケレバ、四十一年度ニ與ヘテ可ナリデアリマス、唯過當ノ金額ヲ出サシテ、所謂補助ノ精神ニ能ク適スルガ如キ、所謂其收入ノ増加ニ從ッテ之ヲ宜シク低減ノ爲シ得ラレルヤウ、或ハ本年四十七万ノモノハ、四十万ニ減ジ、若クハ三十万ニ減ズルト云フ、伸縮自在ノモノニシテ置キタイト云フニ外ナラヌデアリマス、〔簡短〕又「ヒヤ〜」ト呼フ者アリ又之ヲ受ケル方ノ側カラ言ッテ、是ガ不利益デアラヤト云フタナラバ、決シテ不利益デナイト認メマス、若シ議會ニ於テ本員ノ如キ説ニシテ置イテモ決シテ之ヲ絕對ニ與ヘヌト云フノデハナイ、與ヘルト云フノデアルガ、唯不當ノ利益ヲ得サセナイト云フ趣旨デアリマスカラ、之ヲ受ケル方ニ於テハ、安心ヲシテ受ケラレル答デアラウト思フ、三箇年デナケレバナラヌ、一箇年デナケレバナラヌト云フコ

トデアッテナラハ、寧ろ其意旨ハ甚ク不誠實不親切ナトデアラウト私ハ斷言スル譯デアリマス、既ニ此委員會ニ於キマシテ、三年說ト二年說ト起リマシタガ、本會ニ於テ其說カ多數カモ知レマセヌガ、一言述バマスガ、三年說ノ根據トセラル、トコロハ、他ノ歐洲航路等ガ四十二年ノ十二月三至、滿期トナル場合デアアル故ニ、此濠洲ノ航路ニ於テモ、矢張四十二年マデ之ヲ延期シテ置イテ、サウシテワレト同一時ニ存廢ヲ決シテ宜カラウ、若クハ整理シテ宜カラウ、斯ウ云フ御說デアアルデアリマス、餘リ私ハ確カニ根據ガ無イヤウニ信ジテ居リマスルガ、併ナガラ私ハ思ヒマスルニ、期限ノ來ナイ前ニ向テ改廢スルコトハ出來ナイ、幸ニ此航路ノコトニ至ラズテハ、既ニ期限ガ到來シテ居リマス、此場合解約スルカドウカト云フ場合ニ際會シテ居リマスカラ成ルベク國庫ノタメニ忠實ナルトコロノコトニ極メテ置クコトコソ宜イデアアリマセヌカ、何ゾ他ニ期限ガ到來セヌカラ、猶豫シテ置カウト云フガ如キハ、實ニ根據ナキ理由デアアルト思ヒテ居リマス、次ニ二年說ト云フモノハ、委員會ニ於テモ說ガゴザイマシタガ、是ハ要スルニ一年ト云ヒ三年ト云フノハ、共ニ長短ニ失シテ居ルカラ、所謂其中間ヲ取テ二箇年ニシヤウト云フ、所謂折衷論デアリマス、成程一ツノ折衷論トスルナラハ可ナリデアリマセウガ、矢張私ハ結果ハ是ヲ三年ニスルト云フモ、對テ道理ニナリハセヌカト思フ、今一ツノ二箇年ニスルト云フ理由ハ、航海獎勵法ト云フモノハ、餘程以前ニ制定セラレテ居ルカラ、是ハ改正シナケレバナラヌ、其改正ヲスルト云フニハ、二箇年位ノ年限ヲ假シテモ宜イト云フ、此說ト二ツアルデアリマス、併シ私ガ考ヘマスノニ、無理ニ之ヲ二箇年ニ致シテ置キマセヌデモ、二十九年ニ於テ切レ、ハ前述セル必要ガアリマセヌレバ、又與ヘ又與ヘシテモ、何モ差支ナイデアリマス、是ニ二箇年ニスル三箇年ニスルト云フノハ、程度問題デアリマスケレドモ、寧ろ原案ノ五箇年ト云フモノヲ短縮シヤウト云フ論者ノ御說デアアル位ナラバ、是ヲ一箇年ニスルモ可ナリ、何ヲ苦シテ二年若クハ三年トスルノ必要ガアリマセウカ、又航海獎勵法ノ如キニ至リマシテハ、一ノ單行法律デアラ、既ニ非常特別稅ノ如キ複雑ナルトコロノ稅法デアライマスナラバ、或ハ之ニ二箇年ノ期限ヲ附スルモ可ナリデアリマスガ、單純ナル唯航海法ノ改正ニ二箇年ノ期間ヲ要スル必要ハドコニアラデアリマセウカ、之ヲ要シマスルニ、一併縮自在、成ルベク國庫ニ損ヲシナイヤウニ、會社ノ獨立自營ニ必要ナル、ツレバ程度トシテ損失セザルダケノ補給ヲスレバ宜シ、斯ウ云フ趣旨ノ下ニ一箇年ト云フ說ヲ唱ヘテ次第デアリマス、又將來航路ノ補助ハ澤山ゴザイマスガ、皆此方針ヲ執テ私ハ將來極メタイト云フ考ヲ持テ居リマス、成程本問題ノ如キハ之ヲ二箇年ニシヤウガ、三箇年ニシヤウガ、輕微ノ問題デアルト云フカモ知レヌ、吾々モサウ非常ナ大問題トハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ唯自分ハ所謂世間ニ謂フ御都合主義——御都合主義ト云フガ如キハ、堂々タル議會ニ於テ極メタクナイデアリマス、成ルベク國庫ノタメニ利益ニナリ、成ルベク一私人ニ不當ノ利益ヲ得サセナイヤウニ適當ノ理窟ガアレバコソ極メタイト云フ趣旨ニ外ナラヌデアリマス、諸君ハ若シ二年若クハ三年ト云フ御論ヲ唱ヘラル、ナラバ、ドウカ幸ニ本員ノ主張致シマストコロノ一年說ニ御贊成ノコトヲ希望シマス

○長崎登君 大戶君ニチヨット質問ガアル、サウスルト此契約ヲ削去スルトニナリマスカ

○東尾平太郎君 諸君、私ノ修正ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件、之ニ對シテ原案ニハ、明治三十九年度ヨリ五箇年ノ期限ヲ定メデアリマス、此航海——濠洲ノ航路補助費デアリマス、私ハ是ヲ三十九年度ヨリ四十年度マデ二箇年間に補助トシタイデアリマス、此問題ハ主査會ナリ、豫算委員會ナリニ於テモ大變ヤカマシク言ヒマシタカラ、今日ハ單純ノ問題ニナラシメ居ルデアリマス、要シマスル所、濠洲航路補助費ノ四十七万圓ニ對シテ、豫算會ナリ、主査會ノ全部ハ、之ヲ全廢スルノ精神ハ一人モ無カッタ、唯期限ヲ短縮スルト云フ大體ノ議論ノ一致ガ、大同俱樂部ハ一年說ヲ、憲政本黨ハ二年說ヲ、政友會ハ三年說ヲ執ッテ、豫算委員會ニ於テ、少數ニ決シテ、原案消滅ノ不幸ヲ見ルニ至リマシタガ、原案ヲ廢棄スル精神ハ、何レモ無カッタデアリマス、唯私共ノ二箇年說ヲ執ル必要ハ、今日我國ノ汽船噸數ヲ見マスルニ、九十二万噸ニ増加シテ居リマス、戰前ニ比シマスレバ、二十七万噸ノ増加デアリマス、又戰後我國ノ膨脹ト共ニ海外ニ向テ航海ノ事業ヲ大ニ發展シナケレバナラヌガ、今日ノ航海獎勵法ハ十箇年以前ノ舊法ニシテ、我國ノ海外ニ向テ海運ヲ發達ヲ計ルニ適合シナイ法律デアリマス、又從來ノ保護ノ方針ヲ考ヘマスルニ、從來ノ政府ハ或ル一二ノ大會社ニ情實の補助ヲシタ弊害ナキニモアラズ、今日ハ斯カル舊法ヲ踏襲シ情實ニ拘泥シテハ、到底今後發展スル我日本ノ海運ヲ發達スルコトハ出來マセヌ故ニ、是等ノ方法ヲ改良シテ、然ル上ニ獨リ濠洲ノ航路補助費ノミナラス、總テヲ改良シタイ意見ヲ持ッテ居リマスガ、之ヲ改良スルニハ二箇年位ノ時日ハ要ルト思ヒマス、故ニ五箇年ヲ短縮シテ、二箇年トスル意見ヲ提出致シマス

○谷澤龍藏君 三ヨット遞信大臣ニ伺ヒマスガ、是ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スルモノ、是ハ一年ニナルトモ、二年ニナルトモ、三年ニナルトモ、契約ヲシテアル金額ニ相違ヲ生ズルヤウナコトハナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ハ一年、二年、三年、是ガ何レニナラデモ金額ニ差違ハナイカト云フ御尋デスカ

○谷澤龍藏君 金額ニ相違ヲ來タスコトハナイカト云フコトデス

○遞信大臣(山縣伊三郎君) ヲレハ一年ニナラデモ、二年ニナラデモ三年ニナラデモ其年度ハ五年ノ割合ニ在クデアリマスカラ、毎年極ッテ居ルノ別段差支ナイ

○東尾平太郎君 諸君、私ノ修正ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件、之ニ對シテ原案ニハ、明治三十九年度ヨリ五箇年ノ期限ヲ定メデアリマス、此航海——濠洲ノ航路補助費デアリマス、私ハ是ヲ三十九年度ヨリ四十年度マデ二箇年間に補助トシタイデアリマス、此問題ハ主査會ナリ、豫算委員會ナリニ於テモ大變ヤカマシク言ヒマシタカラ、今日ハ單純ノ問題ニナラシメ居ルデアリマス、要シマスル所、濠洲航路補助費ノ四十七万圓ニ對シテ、豫算會ナリ、主査會ノ全部ハ、之ヲ全廢スルノ精神ハ一人モ無カッタ、唯期限ヲ短縮スルト云フ大體ノ議論ノ一致ガ、大同俱樂部ハ一年說ヲ、憲政本黨ハ二年說ヲ、政友會ハ三年說ヲ執ッテ、豫算委員會ニ於テ、少數ニ決シテ、原案消滅ノ不幸ヲ見ルニ至リマシタガ、原案ヲ廢棄スル精神ハ、何レモ無カッタデアリマス、唯私共ノ二箇年說ヲ執ル必要ハ、今日我國ノ汽船噸數ヲ見マスルニ、九十二万噸ニ増加シテ居リマス、戰前ニ比シマスレバ、二十七万噸ノ増加デアリマス、又戰後我國ノ膨脹ト共ニ海外ニ向テ航海ノ事業ヲ大ニ發展シナケレバナラヌガ、今日ノ航海獎勵法ハ十箇年以前ノ舊法ニシテ、我國ノ海外ニ向テ海運ヲ發達ヲ計ルニ適合シナイ法律デアリマス、又從來ノ保護ノ方針ヲ考ヘマスルニ、從來ノ政府ハ或ル一二ノ大會社ニ情實の補助ヲシタ弊害ナキニモアラズ、今日ハ斯カル舊法ヲ踏襲シ情實ニ拘泥シテハ、到底今後發展スル我日本ノ海運ヲ發達スルコトハ出來マセヌ故ニ、是等ノ方法ヲ改良シテ、然ル上ニ獨リ濠洲ノ航路補助費ノミナラス、總テヲ改良シタイ意見ヲ持ッテ居リマスガ、之ヲ改良スルニハ二箇年位ノ時日ハ要ルト思ヒマス、故ニ五箇年ヲ短縮シテ、二箇年トスル意見ヲ提出致シマス

○長谷場純孝君 吾々ハ豫算委員會總會マデノ間、此問題ニ付イテ、三年說ヲ主張致シマシタ所ガ、不幸ニシテ豫算總會ハ三說共ニ成立セズシテ、其儘豫算委員長ハ議會ニ報告スルノ已ムヲ得ザルニ立至ッタ今日ノ場合、此十億三千万餘、即チ戰後第一ノ議會ノ豫算ヲ議スル場合ニ於テ、僅カ航海補助費ノ金ノタメ、僅カ一年ノ争ヒノタメニ、此下院ニ於テ、又豫算總會ノ如キ不成立ヲ見ルハ、甚ク遺憾ニ存シマス故ニ、我々、此議院ノ一致ヲ保タンガタメニ、前三年說ヲ取消シテ、唯今東尾君ノ一年說ニ贊成致シ

○東尾平太郎君 諸君、私ノ修正ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件、之ニ對シテ原案ニハ、明治三十九年度ヨリ五箇年ノ期限ヲ定メデアリマス、此航海——濠洲ノ航路補助費デアリマス、私ハ是ヲ三十九年度ヨリ四十年度マデ二箇年間に補助トシタイデアリマス、此問題ハ主査會ナリ、豫算委員會ナリニ於テモ大變ヤカマシク言ヒマシタカラ、今日ハ單純ノ問題ニナラシメ居ルデアリマス、要シマスル所、濠洲航路補助費ノ四十七万圓ニ對シテ、豫算會ナリ、主査會ノ全部ハ、之ヲ全廢スルノ精神ハ一人モ無カッタ、唯期限ヲ短縮スルト云フ大體ノ議論ノ一致ガ、大同俱樂部ハ一年說ヲ、憲政本黨ハ二年說ヲ、政友會ハ三年說ヲ執ッテ、豫算委員會ニ於テ、少數ニ決シテ、原案消滅ノ不幸ヲ見ルニ至リマシタガ、原案ヲ廢棄スル精神ハ、何レモ無カッタデアリマス、唯私共ノ二箇年說ヲ執ル必要ハ、今日我國ノ汽船噸數ヲ見マスルニ、九十二万噸ニ増加シテ居リマス、戰前ニ比シマスレバ、二十七万噸ノ増加デアリマス、又戰後我國ノ膨脹ト共ニ海外ニ向テ航海ノ事業ヲ大ニ發展シナケレバナラヌガ、今日ノ航海獎勵法ハ十箇年以前ノ舊法ニシテ、我國ノ海外ニ向テ海運ヲ發達ヲ計ルニ適合シナイ法律デアリマス、又從來ノ保護ノ方針ヲ考ヘマスルニ、從來ノ政府ハ或ル一二ノ大會社ニ情實の補助ヲシタ弊害ナキニモアラズ、今日ハ斯カル舊法ヲ踏襲シ情實ニ拘泥シテハ、到底今後發展スル我日本ノ海運ヲ發達スルコトハ出來マセヌ故ニ、是等ノ方法ヲ改良シテ、然ル上ニ獨リ濠洲ノ航路補助費ノミナラス、總テヲ改良シタイ意見ヲ持ッテ居リマスガ、之ヲ改良スルニハ二箇年位ノ時日ハ要ルト思ヒマス、故ニ五箇年ヲ短縮シテ、二箇年トスル意見ヲ提出致シマス

○谷澤龍藏君 三ヨット遞信大臣ニ伺ヒマスガ、是ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スルモノ、是ハ一年ニナルトモ、二年ニナルトモ、三年ニナルトモ、契約ヲシテアル金額ニ相違ヲ生ズルヤウナコトハナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ハ一年、二年、三年、是ガ何レニナラデモ金額ニ差違ハナイカト云フ御尋デスカ

○谷澤龍藏君 金額ニ相違ヲ來タスコトハナイカト云フコトデス

○遞信大臣(山縣伊三郎君) ヲレハ一年ニナラデモ、二年ニナラデモ三年ニナラデモ其年度ハ五年ノ割合ニ在クデアリマスカラ、毎年極ッテ居ルノ別段差支ナイ

マス

〔賛成〕と呼ぶ者アリ

○森本駿君 私ハ少数者意見書ニ署名シタ一人デアリマシテ、元來少数者意見書ハ當初ニ報告スベキ筈デアリマシタケレドモ、唯今長谷場君ノ説ノ如クニ一致ヲ保ッテ、而シテ此豫算ノ成立ヲ計ルガタメニ、少数者意見書ハ撤回スルコトヲ、兼テ豫告致シマシタカラ登壇シシナカッタ所以デアリマス、此場合ニ於テ撤回致シマス

〔採決〕と呼ぶ者アリ

〔近江谷榮次君登壇〕

○近江谷榮次君 私ハ極メテ簡單ニ申上ゲマス、此濠洲航路ニ對シテハ大戸君ノ廢案説ニ賛成致シマス、併ナガラ此金額ヲ三分ノ一ニ減ズルト云フ意見デアリマスガ、是ハ豫算ノ後ニ申述ベル積テゴザイマス、ソレカラ此濠洲航路ヨリハ先ヅ第一ニ廢サナケレバナラヌノハ東洋近海航路デアリマス、是ハ今日ノ所ハ殆ド要ラスノデアリマス、矢張是モ契約ノ中ニ加ヘテアリマスルカラ、是ハ明カニ反對シテ置キマス、即チ廢案ヲ私ハ主張シテ置キマス、是ダケテゴザイマス

〔採決々々〕ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 採決致シマス大戸君ノハ一年説デアリマシテ、繼續案ヲ削除シヤウト云フデアリマス——削除説デアリマス、ソレデア又一方ニ於テ東尾平太郎君ノハ是ハ二年説デアッテ、二十九年度ヨリ四十年度マデト云フデアリマス、二年間デアリマス、ソコテ原案ニ遠イトコロノ東尾平太郎君ノ……

〔「ノウク」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 一年説カラ決ヲ採リマス

〔「モウ」偏〕分ラヌ〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) マダ御分リニナリマセヌカ

〔「分リマセヌ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) モウ一度申上ゲマス、大戸君ノハ之ハ削除スルト云フデアリマス、東尾平太郎君ノハ二年説デアリマス、ソレテ原案ニ遠イトコロノ東尾君ノ二年説カラ決ヲ採リマス、東尾平太郎君ノ二年説ニ御同意ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

起立者 數多

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス

〔「異議アリ」〕少數〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 遞信省所管ノ第一款ノ第三項ニ戻リマス

〔近江谷榮次君登壇〕

○長谷場純孝君 今騒擾ノ際テ議長ノ御宣告ガ能ク徹底致シマセヌガ、此第三項ニ御移リニナツタノデスカ

○議長(杉田定一君) 第三項ニ移リマシタ

○長谷場純孝君 第三項ニ御移リニナツタ以上ハ、東尾君ノ勤議ノ通、二年トナツタナラバ從テ金額ガ此所テ更マルノデアリマセウ

○東尾平太郎君 原案復活デス

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 近江谷君カラ更ニ修正ノ勤議ガ提出ニナツテ其通告ガアリマス
○近江谷榮次君 修正ノ勤議ヲ提出致シマス、即チ歳出臨時部遞信省第一款ノ補助費、第三項ノ航路擴張費ノ原案ノ、六百十九万六千八百八十一圓ノ中、第一目ノ濠洲線ノ三分ノ一ヲ減ズルト云フ修正デアリマス、即チ十五万七千六百九十七圓三十三錢ヲ減ズルデアリマス、ソレカラ第四目ニ寄港補助ト云フノガアリマス、是ハ韓國ニ對スル寄港補助デアリマス、今日ハ殆ド必要ガナイ、是ハ三万五千圓、之ヲ全廢スルノデアリマス、ソレカラ第八目ノ東洋近海航路補助、是ガ五十八萬圓デアリマスガ、今日此船舶ガ一番有利ナリトスル航路ハ、則チ東洋近海航路デアリマス、ソレカラ第九目ノ日本海線航路補助ト云フガ十二万六千圓ニナツテ居リマス、是等モ全廢シテ宜シイ管デアリマスケレドモ、是ヲ半額ニ減シテサウシテ所謂六万三千圓ヲ減スルノデアリマス、此減ズル額ノ合計ハ七十八万五千六百三十三圓ニナツテ居リマス、是ダケノ額ヲ減シマシテモ、現在ノ航海業ハ發達スレバコソ決シテ是ニ對シテハ一向故障ハナイデアリマス、寧ロ自由ノ航路ヲ與エマシテ、自由ノ競争ヲサセマシタナラバ、一般ノ航海業者ガ是ガタメニ非常ナル利益ヲ被ルルノデアリマス、故ニ此ノ項目カラ是ダケノ金ヲ減ズルト云フコトヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス

○森本駿君 第三項ハ原案復活ヲ提出シマス

〔採決々々〕と呼ぶ者アリ

〔復活スル必要ハナイ原案ハ活キテ居ル〕と呼ぶ者アリ

○横田虎彦君 原案ヲ賛成シマス

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、近江谷君ノ修正説ニハ定規ノ賛成ガゴザイマス、近江谷君ノ説ニ付イテ、先ヅ決ヲ採リマス、近江谷君ノ説ニ御同意ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス——森本君ノ此第三項航路擴張費是ヲ原案ニ復活スルト云フ勤議デアリマス、是ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 第四項ヨリ第八款マデ別段修正ガアリマセヌ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、遞信省所管ノ合計歳出臨時部ノ合計ニ就イテ復活ノ結果異議ガ生ジマシタガ、其邊ノコトニ就キマシテ議長ニ御委任ニナリマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」〕と呼ぶ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
 ○元田肇君 本院ニ於テ問題トナルベキ件ハ、大抵既ニ議了致シテヤウデアリマスルガ、他ニ別段ノ修正動議ガ出テ居ラヌデ、又アリサウモナイト御認メナラバ、豫算委員長ノ報告シテ通原案ノ通過スベキモノハ通過シ、修正スベキモノハ、修正スルトシテ、アトノトコロハ總テ一括ニ決テ採ラレテ然ルベキモノト思ヒマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
 〔委員長報告通りトシテヤレバ少シモ間違ヒナイ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 諸君ニ申上ゲマスガ、修正ノ結果ニ基キ異動ヲ來シタルトコロノ訂正等ノコトニ就イテハ、議長ニ御一任下サテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、然レバ此豫算ノ全部ニ就イテ、豫算委員長ノ報告通御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ豫算ハ全部確定致シマシタ
 (拍手起ル)

〔散會々々〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 諸君ニ申上ゲマスガ……

○東尾平太郎君 豫算ガ終リマシタカラ散會ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) マダデス、マダデス、議事日程ノ第六、臨時軍事費豫算追加案ヨリ第十二至ルマデ、是ヲ一括トシテ議題ニ供シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、然レバ一括トシテ議題ニ供シマス

第六 臨時軍事費豫算追加案

第七 (第一號) 明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案

第八 (第二號) 明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案

第九 (特第一號) 明治三十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

第十 (追第一號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

〔委員長報告通贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 栗原君別段御報告ハアリマセヌカ

○長谷場純孝君 茲ニ於テ緊急動議ヲ出シマス、議事日程ヲ變更シ臺灣銀行法案ヲ此處テ議セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 是ガ濟ンデカラドウゾ……議事日程ノ第六臨時軍事費豫算追加案ヨリ第十二至ルマデ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、即チ日程第六ヨリ第十マデ結了致シマシタ、長谷場君カラ議事日程ヲ此際變更シテ、臺灣銀行法中改正法律案ヲ議スルト云フ動議ガ出テ居リマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ヨリ議スルトコトニナリマス
 臺灣銀行法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

〔山口小一君登壇〕

○山口小一君 臺灣銀行法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマスデゴザイマス、此法案ニ對シマシテハ丁度午前マデ三回開キマシタデゴザイマスルガ、マダ午前ニ開キマシタ位ノコトデゴザイマスカラ、速記録モ御迴シナッテ居リマセヌカ、一ト通り委員會ノ結果ヲ詳細ニ御報告申シマス、此臺灣銀行ノ法律案ト申シマスルモノハ、明治二十年法律第三十八號ヲ公布ニナッテ居リマスノデ、其公布ニナッテ居リマス抵當物ハ、確實ナル不動産ヲ抵當トシ、又ハ不動産ヲ質トスル貸付、斯ウ云フコトデアルノ、此節改正スルノハ確實ナル擔保アル貸付ト云フコトニナッテ居リマス、此確實ナル擔保アル貸付ト云フコトニ付イテハ、文字上ニ於テハ確實ナルコトナレドモ、不確實ナルコトガ往々アルニ依ッテ、此抵當ノ物件ヲ列記スル方ガ却テ確實ニナリハセヌカト云フヤウナ 議論ヲ起シテ見マシタトコロガ、ドウモ内地ヨリ臺灣ノ方ニシマス、清國トノ取引ガアッテ今茲ニ舉ゲルコトガ出來ナイノデアル、ソコデ此確實ノ不確實ニナラヌヤウニスルニハ、臺灣總督ノ方ヨリ參事官等ヲ、是マデハ月一回出シタコトナレドモ、多ク出シテ取締ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトデアリマス、(簡單々々)「分々」ト呼フ者アリソレカラ尙二十年ノナニト云フモノハ、所謂臺灣ハ銀貨制デゴザイマス、銀貨制ガ明治三十七年ニ至ッテ律令デ金貨制ニナッテ居ル、ソレハ甚ダ不都合デハナイカト云フ問ヲ起シマシタトコロガ、ソレハ將來是ノ如キコトハシナイト云フ譯デゴザイマシタカラ、將來ヲ誦メマシテ、本案ノ通可決ヲ致シマシタカラ、ドウゾ本會ニ於キマシテモ可決セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスガ、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ付イテ、御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス——讀會ヲ省略シテ直ニ確定サレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 恆松隆慶君ヨリ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ二讀會ヲ確定スルト云フコトニ付イテ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス直チニ二讀會ニ移リマス、全部ヲ議題ト致シマス——御異議ハゴザイマセヌカ

臺灣銀行法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 然ラハ本案ハ是ニテ確定ヲ致シマシタ
○恆松隆慶君 チョット緊急動議ヲ提出致シマス、第十一カラ第十四マデハ一括シテ
議題トナシ、此場合デスカラ提出者ノ演説ヲケテ略シマシテ、各案毎ニ委員ヲ選ンデ裁
キタイト思ヒマス、委員ノ數ハ更ニ中上ゲマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議デ、第十一ヨリ第十四マデヲ説明ヲ略シテ、サウ
シテ委員附託ニ致シタイ、是ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハタイト認メマス
第十一 會計法中改正法律案(小川平吉君外三名提 第一讀會
出)

會計法中改正法律案
第十二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
國務大臣ハ憲法第七十條ノ場合ヲ除クノ外豫備費ノ定額以外ニ豫算超過
又ハ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得ヌ

第十六條 會計検査院ノ検査ヲ經テ政府ヨリ帝國議會ニ提出スル總決算ハ
總豫算ト同一ノ様式ヲ用井左ノ事項ヲ明記シテ翌々年度ノ帝國議會集會
ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ
歳入之部

歳入豫算額
調定済歳入額
收入済歳入額
收入未済歳入額
歳出之部
歳出豫算額
豫算決定後増加歳出額
仕拂命令済歳出額
翌年度繰越額

第十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(久保 第一讀會
伊一郎君提出)

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
裁判所位置及管轄區域表中奈良地方裁判所管内五條區裁判所管轄大和國吉
野郡ノ内中龍門村、中莊村、國樑村、川上村、上北山村、下北山村ヲ同地方裁
判所管内松山區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附則
本法ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前五條區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

第十三 航海補助ニ關スル建議案(近江谷榮次君外一名提出)
航海補助ニ關スル建議案

我カ航海事業ノ振作ハ實ニ戰後經營ノ最先急務ナリトナス然ルニ從來其ノ
補助ノ不整備ハ巨費ヲ一局ニ彈シ被補者ヲシテ其ノ重要航路ヲ獨占セシメ
爲ニ幾多ノ弊害ヲ助長シ來リ一般航海事業ノ發達ヲ阻礙スルモノ尠トセス
今ヤ戰役ノ結果夥シキ船舶ノ増加ヲ來シ内外交通事情ノ推移亦隨テ至大ノ
變化ヲ生セリ是時ニ於テ猶其ノ施設方法舊情ヲ因襲シ徒ラニ慣例ニ忤泥シ
テ斯業ノ自由發達ヲ挫傷セハ忽チ歐米航運業者ノ乘スル所トナリ竟ニ復タ
救フヘカラサルニ至ラム政府ハ宜ク是ニ猛省シ謹慎嚴正ナル考查ヲ遂ケ之
カ改正更訂アラムコトヲ望ム
右建議ス

第十四 國本培養ニ關スル建議案(多田作兵衛君外十九名提出)
國本培養ニ關スル建議案

今ヤ平和克復シ對外經濟上ノ競争ハ日ヲ追フテ益激甚ナラムトス況ヤ帝國ノ
規模頗カニ恢廓ヲ加ヘ内外ノ經營滋多端ニシテ國民ノ富力ニ須ツ所ノモノ
愈急且大ナラムトスルニ於テオヤ此ノ秋ニ方リ國家ニシテ大ニ産業ノ振興
ニ力メ之カ施設經營ニ對シ積極的方針ヲ執リ以テ國本ヲ培養シ民力ヲ涵養
スルニ非ヌムハ奚ヲ戰捷ノ光榮ヲ無疆ニ保チ國家ノ進運ヲ永遠ニ扶持スル
コトヲ得ムヤ之ヲ以テ本院ハ曩ニ第二十一回帝國議會ノ開會ニ際シ政府ニ
於テ速ニ産業ノ保護獎勵ニ關スル方案ヲ選擇シ事帝國議會ノ協贊ヲ經ルヲ
要スルモノハ案ヲ具シテ必ス次期議會ニ提出セラレムコトヲ建議シ當時政
府モ亦最熱心ニ贊同ノ意ヲ表明セラレタリ然ルニ今期議會ニ提出セラレタ
ル豫算案中殆ト之ニ對スル計畫ヲ發見スルコト能ハサルハ本院ノ深ク遺憾
トスル所ナリ政府ハ宜ク意ヲ茲ニ致シ前期議會ニ於ケル本院ノ建議ヲ採用
シ速ニ之カ計畫ヲ提示セラレムコトヲ望ム
右建議ス

○議長(杉田定一君) 委員ノ數ハ何名デスカ
○恆松隆慶君 第十一ハ九名、第十二ガ九名、第十三ガ十八名、第十四ガ十八
名、各議長ノ指名ニ依ッテ決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通員數ニ付イテハ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハタイト認メマス——報告ガアリマス
〔書記朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十九年法律第十三號中改正法律案

提出者 根本 正君 村松 愛藏君 望月 小太郎君

橋本 久太郎君 星松 三郎君

私設鐵道法中改正法律案

提出者 根本 正君 恆松 隆慶君 村松 愛藏君

遊田 研吉君 橋本 久太郎君 星松 三郎君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

提出者 長谷場 純孝君 菅原 傳君 青地 雄太郎君

福井 三郎君 原田 尠城君

東北三縣凶作地窮民救恤ニ關スル建議案

提出者 青地 雄太郎君 福井 三郎君 野田 卯太郎君

菅原 傳君 原田 尠城君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

會計法中改正法律案

森本 駿君 宮古 啓三郎君 森 肇君

大野 久次君 北島 具雄君 神崎 東藏君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

植場 平君 遠山 正和君 鈴木 倉次郎君

森田 卓爾君 乾 奈良吉君 中西 六三郎君

航海補助ニ關スル建議案

久保 伊一郎君 米田 實君 尾形 兵太郎君

木暮 武太夫君 阿部 德三郎君 丸山 巖一 郎君

國本培養ニ關スル建議案

後藤 文一郎君 西村 專太郎君 安藤 新太郎君

福島 美之助君 大津 淳一郎君 田村 惟昌君

谷澤 龍藏君

淺見 竹太郎君 武藤 金吉君 橫山 一平君

近江谷 榮次君 島田 三郎君 橋本 久太郎君

多田 作兵衛君

中西 光三郎君 米澤 紋三郎君 林 小一郎君

鳥海 哲四郎君 長谷川 豐吉君 東尾 平太郎君

宮井 茂九郎君

井手 武右衛門君 青地 雄太郎君 齋藤 宇一郎君

伊夫伎 資弼君

山口 小一君 渡邊 敬昌君 河上 英君

松井 源内君

松本 恆之助君 岩本 晴之君

○議長(杉田定一君) 議事日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ是テ散會致シマス 午後五時七分散會

(117)

